

秋田県文化財調査報告書第529集

# 遺跡詳細分布調査報告書

2023・3

秋田県教育委員会

シンボルマークは、北秋田市白坂（しろざか）遺跡出土の  
「岩偶」です。  
縄文時代晩期初頭、1992年8月発見、高さ7cm、凝灰岩。





# 遺跡詳細分布調査報告書

2023・3

秋田県教育委員会



## 序

本県には、これまでに発見された約5,100か所の遺跡をはじめとして、先人の遺産である埋蔵文化財が豊富に残されています。これらの埋蔵文化財は、県民が地域の歴史や伝統を理解し、ふるさと秋田への誇りや愛着を高めていく上で、欠くことのできないものであります。

一方、県内道路網や河川の整備等は、県民の安全・安心な生活を確保し、人やものの交流を拡大させるために必要であり、埋蔵文化財保護との調和を図ることが急務となっております。遺跡分布調査と遺跡確認調査はそのための基礎資料となるものです。

本報告書は、令和4年度に国庫補助事業として実施した、国道・県道建設事業、河川改修事業等に係る遺跡分布調査及び遺跡確認調査の結果をまとめたものです。特に、2年ぶりに行われた大館市の片貝家ノ下遺跡確認調査では、地中レーダー探査で平安時代の堅穴建物の屋根と推定される反応が新たに見つかり、遺跡の保護にとって重要な手がかりが得られました。

本報告書をまとめるにあたり、調査に協力いただきました関係各機関に感謝申し上げるとともに、今後とも埋蔵文化財の保護につきまして御理解と御協力をいただきますようお願い申し上げます。

令和5年3月

秋田県教育委員会

教育長 安田 浩幸

## 例 言

- 1 本報告書は、令和4年度に秋田県教育委員会が国庫補助を得て実施した、遺跡分布調査と遺跡確認調査の報告書である。なお、本書収録の報告は令和4年4月から令和4年11月までの実施分であり、令和4年12月以降の実施分については来年度に報告する予定である。また、令和4年1月から令和4年3月に実施した遺跡分布調査の結果報告を、令和3年度補足分として掲載した。
- 2 本報告書に収録の遺跡分布調査は主に秋田県教育庁生涯学習課文化財保護室が担当し、報告を作成した。遺跡確認調査は秋田県埋蔵文化財センターが担当し、報告を作成した。全体を秋田県埋蔵文化財センターが編集した。
- 3 本報告書に掲載した地図は、国土交通省又は秋田県が作成した平面図を使用したほか、国土地理院発行の電子地形図25000を複製使用した。なお、第3章第1節の地形図には図幅名を右上に記した。地形図は、世界測地系第X系座標北が上となるように配したが、異なる場合には方位記号を付して示した。なお、使用した地形図は下記の通りである。

電子地形図25000（令和4年5月23日調製）

### （1）遺跡分布調査

「森岳」(P9・10・31)、「小砂川」(P9・11)、「秋田西部」(P9・10)、「五城目」(P9・10)、「大久保」(P10・22)、「大館」(P10・26)、「羽後和田」(P11・17・18)、「稻沢」(P11・28)、「横堀」(P11)、「毛馬内」(P12・25)、「湯瀬」(P12・26)、「阿仁合」(P12・26)、「比立内」(P12)、「小坂」(P13)、「湯ノ又」(P13)、「北浦」(P13・22)、「土崎」(P14)、「本荘」(P14・23)、「岩野目沢」(P15・23)、「八沢木」(P15・23)、「中直根」(P15)、「上桧木内」(P15・27)、「羽後長野」(P15・16)、「横手」(P16・17)、「稻庭」(P16)、「羽後田代」(P16・17)、「羽後黒沢」(P17)、「新波」(P18・27)、「湯沢」(P18)、「秋田駒ヶ岳」(P18・19)、「鳥海」(P21)、「船川」(P22)、「前郷」(P22)、「苔生」(P23)、「太平湖」(P24・25)、「羽後庄内」(P24)、「大神威」(P24・26)、「真昼岳」(P24)、「花輪」(P25)、「明利又」(P25)、「桂瀬」(P25)、「大葛」(P26)、「十二所」(P26)、「藤琴」(P27)、「松原」(P27)、「戸島内」(P27)、「下桧木内」(P28)、「角館」(P28)、「大曲」(P29)、「田子内」(P29)、「鷹巣西部」(P29・31)、「能代」(P29・30)、「二ツ井」(P30)、「鹿渡」(P31)

### （2）遺跡確認調査

「象潟」(第3図)、「新波」(第7・8図)、「刈和野」(第11図)、「西馬音内」(第15図)、「扇田」(第19図)

- 4 第2章表中の事業者のうち、国土交通省の河川国道事務所、農林水産所の農業水利事務所、東日本旅客鉄道株式会社、東日本高速道路株式会社は略記とした。

# 目 次

例言	
目次	
第1章 はじめに	1
第2章 実施要項	
第1節 遺跡分布調査	1
第2節 遺跡確認調査	7
第3章 調査の記録	
第1節 遺跡分布調査	
1 令和3年度補足分	
(1) 国道7号大曲歩道整備事業	9
(2) 国道7号遊佐象潟道路事業	9
(3) 都市計画街区事業都市計画道路 川尻庄馬線	9
(4) 在来線列車無線地上設備更新事業 (奥羽本線秋田・青森間列車無線基地局 新設他工事：鰐川局)	9
(5) 在来線列車無線地上設備更新事業 (奥羽本線秋田・青森間列車無線基地局 新設他工事：八郎潟局)	10
(6) 在来線列車無線地上設備更新事業 (奥羽本線秋田・青森間列車無線基地局 新設他工事：大久保局)	10
(7) 在来線列車無線地上設備更新事業 (奥羽本線秋田・青森間列車無線基地局 新設他工事：秋田貨物局)	10
2 令和4年度分	
(1) 国道7号有浦地区電線 共同溝事業	10
(2) 国道7号大曲歩道整備事業	10
(3) 国道13号河辺拡幅事業	11
(4) 国道7号遊佐象潟道路事業	11
(5) 国道46号福沢歩道整備事業	11
(6) 国道13号横堀道路事業	11
(7) 地方道路交付金事業 (交通安全)・交通安全対策事業 (通学路緊急対策) 国道282号(西町工区)	12
(8) 交通安全対策事業一般県道 根瀬尾去沢線(松館工区)	12
(9) 地方道路交付金事業(改築) 国道105号(幸屋渡工区)	12
(10) 地方道路等整備事業(建設) 主要地方道大館十和田湖線 (雪沢工区)	13
(11) 地方道路等整備事業(建設) 国道288号(富津内工区)	13
(12) 地方道路交付金事業(改築) 国道101号(浜間口工区)	13
(13) 秋田港アクセス道路整備事業 (公共)	14
(14) 地方道路交付金事業(改築) 国道107号 本荘道路	14
(15) 県単道路改築事業主要地方道 横手大森木内線(小滝沢工区)	15
(16) 地方道路等整備事業(建設) 主要地方道鳥海矢島線 (中直根工区)	15
(17) 地方道路交付金事業(改築) 国道105号(堀内工区)	15
(18) 地方道路交付金事業(交通安全) 主要地方道角館六郷線 (下桜田工区)	15
(19) 地方道路交付金事業(交通安全) 国道105号(中鳴工区)	16
(20) 地方街路交付金事業都市計画道路 八幡原岸線(根岸町工区)	16
(21) 地方道路交付金事業(改築) 国道398号(稻庭工区)	16
(22) 県単道路改築事業主要地方道 羽後向田館合線(田代工区)	16
(23) 県単道路改築事業 国道398号(上到米工区)	17
(24) 秋田自動車道の暫定2車線区間の 4車線化事業 (西工矿区：前郷地区)	17
(25) 秋田自動車道の暫定2車線区間の 4車線化事業 (東工矿区：山内茂地区)	17
(26) 雄物川下流河道掘削事業 (黒瀬地区)	17
(27) 雄物川下流河道掘削事業 (女木本地区)	18
(28) 雄物川下流河道掘削事業 (種沢地区)	18
(29) 雄物川水系直轄河川改修事業 (山田地区)	18
(30) 八幡平山系(秋田)直轄砂防事業 (片倉沢第2・3砂防堰堤)	18
(31) 八幡平山系(秋田)直轄砂防事業 (蟹沢第2砂防堰堤)	19
(32) 八幡平山系(秋田)直轄砂防事業 (赤倉沢第3砂防堰堤)	19
(33) 八幡平山系(秋田)直轄砂防事業 (水沢第1砂防堰堤)	19
(34) 烏海ダム建設事業	20
(35) 県単砂防事業(中間口)	22
(36) 地滑り対策事業(泉台)	22
(37) 河川改修工事 馬踏川	22
(38) 火山砂防事業(東船川沢2)	22
(39) 通常砂防事業(前田沢)	23
(40) 立木販売(子吉館跡周辺)	23

(41) 立木販売（小友崎遺跡周辺）	23
(42) 立木販売（上新田I遺跡周辺）	23
(43) 生産請負・立木販売 （丹瀬口遺跡周辺）	24
(44) 生産請負・立木販売 （岩屋山遺跡周辺）	24
(45) 生産請負・立木販売 （寺屋敷遺跡周辺）	24
(46) 生産請負・立木販売 （キリシタンかくれ穴周辺）	24
(47) 生産請負（上山館跡周辺）	25
(48) 生産請負（中ノ渡り一里塚周辺）	25
(49) 生産請負（明利又城跡周辺）	25
(50) 生産請負（小又川遺跡周辺）	25
(51) 生産請負（バチ沢断跡周辺）	26
(52) 予防治山事業（白沢）	26
(53) 復旧治山事業（三哲山）	26
(54) 予防治山事業（小柄沢）	26
(55) 復旧治山事業（根烈）	26
(56) 予防治山事業（下湯の沢）	27
(57) 予防治山事業（宝生口）	27
(58) 予防治山事業（長田）	27
(59) 予防治山事業（朽沢）	27
(60) 緊急予防治山事業（長戸呂）	28
(61) 緊急予防治山事業（佐曾田）	28
(62) 予防治山事業（堂ノ沢）	28
(63) 復旧治山事業（釜ノ川山）	28
(64) 予防治山事業（下木直）	29
(65) 復旧治山事業（一ノ沢）	29
(66) 在来線列車無線地上設備更新事業 （奥羽本線秋田・青森間列車無線基地局 新設他工事：前山局）	29
(67) 在来線列車無線地上設備更新事業 （奥羽本線秋田・青森間列車無線基地局 新設他工事：鷹ノ巣局）	29
(68) 在来線列車無線地上設備更新事業 （奥羽本線秋田・青森間列車無線基地局 新設他工事：東能代局）	29
(69) 在来線列車無線地上設備更新事業 （奥羽本線秋田・青森間列車無線基地局 新設他工事：鶴形局）	30
(70) 在来線列車無線地上設備更新事業 （奥羽本線秋田・青森間列車無線基地局 新設他工事：鶴鳥局）	30
(71) 在来線列車無線地上設備更新事業 （奥羽本線秋田・青森間列車無線基地局 新設他工事：切石局）	30
(72) 在来線列車無線地上設備更新事業 （奥羽本線秋田・青森間列車無線基地局 新設他工事：鶴形トンネル局②）	30
(73) 在来線列車無線地上設備更新事業 （奥羽本線秋田・青森間列車無線基地局 新設他工事：太平山トンネル局①）	31
(74) 在来線列車無線地上設備更新事業 （奥羽本線秋田・青森間列車無線基地局 新設他工事：北金岡局）	31
(75) 在来線列車無線地上設備更新事業 （奥羽本線秋田・青森間列車無線基地局 新設他工事：鹿渡局）	31
(76) 主要地方道十二所花輪大湯線 移設閑連事業	32

## 第2節 遺跡確認調査

1 令和3年度補足分	
(1) 国道7号遊佐象潟道路事業 大道遺跡	37
2 令和4年度分	
(1) 猿物川下流激甚災害対策 特別緊急事業（種沢地区） 雄和金ヶ崎遺跡	42
(2) 猿物川水系直轄河川改修事業 (寺館大巻地区) 大川端道ノ上遺跡	47
(3) 交通安全対策事業 (通学路緊急対策) 主要地方道大曲大森羽後線 (安良町工区) 福島遺跡	52
(4) 大館工業団地開発事業 片貝家ノ下遺跡	57

## 報告書抄録

## 第1章 はじめに

秋田県教育委員会が実施した遺跡詳細分布調査のうち、令和4年1月～3月に実施した令和3年度の遺跡分布調査は、国土交通省関係2件、県建設部関係1件、東日本旅客鉄道株式会社（以下JR東日本）関係4件の計7件である。令和4年4月～11月に実施した令和4年度の遺跡分布調査は、国土交通省関係15件、県建設部関係22件、東日本高速道路株式会社（以下NEXCO東日本）関係2件、JR東日本関係10件、林野庁関係12件、県農林水産部関係14件、県教育庁関係1件の計76件である。同じく遺跡確認調査は、令和4年3月に実施した国土交通省関係1件と令和4年4月～11月に実施した国土交通省関係2件、県建設部関係1件、県産業労働部関係1件の計4件である。これらの調査は次の実施要項に基づいて、秋田県教育生涯学習課文化財保護室職員、秋田県埋蔵文化財センター職員が、各市町村文化財保護行政部局の協力を得て実施したものである。

## 第2章 実施要項

### 第1節 遺跡分布調査

#### 1 調査の目的

開発予定地内を踏査・試掘して遺跡の有無を確認し、遺跡の保護策を講ずる。

#### 2 調査の方法

(1) 計画地域の範囲内で遺物の表面採集及び試掘調査を実施して遺跡の所在を確認する。

(2) 調査では表探した地点や試掘地点の位置及び土層堆積状況を写真・図面等で記録する。

(3) 調査地点毎の遺構・遺物の有無や土層堆積状況を総合的に検討し、遺跡の有無とその範囲について判断する。

(4) 新たに遺跡が確認された場合や遺跡範囲に変更が生じた場合は、ウェブサイト『秋田県遺跡地図情報』に掲載し、周知するとともに当該市町村と情報共有する。

#### 3 事業主体者 秋田県教育委員会

#### 4 調査担当者

秋田県教育生涯学習課文化財保護室

副主幹（兼）班長	五十嵐 一治	副主幹	加藤 朋夏
----------	--------	-----	-------

副主幹	新海 和広	文化財主任	巴 亜子
-----	-------	-------	------

文化財主任	伊豆 傑祐	文化財主任	安田 創
-------	-------	-------	------

秋田県埋蔵文化財センター

副主幹（兼）班長	村上 義直
----------	-------

調査に当たっては以下の各教育委員会の方々に御協力いただいた。

鹿角市教育委員会	花海 義人	鹿角市教育委員会	赤坂 朋美
----------	-------	----------	-------

鹿角市教育委員会	木ノ内 瞭	大館市教育委員会	嶋影 壮憲
----------	-------	----------	-------

大館市教育委員会	馬庭 和也	藤里町教育委員会	安保 光
----------	-------	----------	------

由利本荘市教育委員会	三原 裕姫子	由利本荘市教育委員会	佐々木 健二
------------	--------	------------	--------

仙北市観光文化スポーツ部	遠藤 元	大仙市観光文化スポーツ部	星宮 聰仁
--------------	------	--------------	-------

美郷町教育委員会	畠山 昂大	横手市教育委員会	藤原 尚也
----------	-------	----------	-------

横手市教育委員会	藤原 正大	湯沢市教育委員会	高橋 理信
----------	-------	----------	-------

## 5 調査対象地域及び事業名

※令和3年度補足分(令和4年1月～3月)

No.	事業者	事業名	事業地	調査期間	調査内容	調査結果
1	国土交通省能代河国	国道7号大曲歩道整備事業	三種町	3月22日	試掘	遺跡は確認されなかった。
2	国土交通省秋田河国	国道7号遊佐象潟道路事業	にかほ市	3月17日	試掘	遺跡は確認されなかった。
3	建設部	都市計画道路事業 都市計画道路用尻広面線	秋田市	2月9日	試掘	近世の遺構・遺物を確認したが、内容から調査対象外とした。
4	JR東日本	在来線列車無線地上設備更新事業 (奥羽本線秋田・青森間列車無線基地局新設他工事: 鰐川局)	三種町	3月2日	試掘	遺跡は確認されなかった。
5	JR東日本	在来線列車無線地上設備更新事業 (奥羽本線秋田・青森間列車無線基地局新設他工事: 八郎潟局)	八郎潟町	3月3日	試掘	遺跡は確認されなかった。
6	JR東日本	在来線列車無線地上設備更新事業 (奥羽本線秋田・青森間列車無線基地局新設他工事: 大久保局)	潟上市	3月1日	試掘	遺跡は確認されなかった。
7	JR東日本	在来線列車無線地上設備更新事業 (奥羽本線秋田・青森間列車無線基地局新設他工事: 秋田貨物局)	秋田市	2月28日	試掘	遺跡は確認されなかった。

※令和4年度分(令和4年4月～11月)

No.	事業者	事業名	事業地	調査期間	調査内容	調査結果
1	国土交通省能代河国	国道7号有浦地区電線共同溝事業	大館市	11月11・16日	試掘	遺跡は確認されなかった。
2	国土交通省能代河国	国道7号大曲歩道整備事業	三種町	7月4日	試掘	遺跡は確認されなかった。
3	国土交通省秋田河国	国道13号河辺拡幅事業	秋田市	7月1日、10月4日	試掘	遺跡は確認されなかった。
4	国土交通省秋田河国	国道7号遊佐象潟道路事業	にかほ市	4月26・27日	試掘	同上の遺跡1か所(下向坂遺跡)を確認した。
5	国土交通省秋田河国	国道46号船沢歩道整備事業	大仙市	6月2日	試掘	遺跡は確認されなかった。
6	国土交通省湯沢河国	国道13号横堀道路事業	湯沢市	11月29日	試掘	遺跡は確認されなかった。
7	建設部	地方道路交付金事業(交通安全全) ・交通安全対策事業(通学路緊急対策) 国道282号(西町工区)	鹿角市	5月27日、11月22日	試掘	遺跡は確認されなかった。
8	建設部	交通安全対策事業 一般県道根柳尾尾去沢線 (松館工区)	鹿角市	11月22日	試掘	遺跡は確認されなかった。

No.	事業者	事業名	事業地	調査期間	調査内容	調査結果
9	建設部	地方道路交付金事業（改築） 国道105号（幸屋瀬工区）	北秋田市	9月20日	試掘	遺跡は確認されなかった。
10	建設部	地方道路等整備事業（建設） 主要地方道大船十和田湖線 (雪沢工区)	大館市	6月22日、9月20・28日	試掘	新発見の遺跡1か所（下中羽立遺跡）を確認した。
11	建設部	地方道路等整備事業（建設） 国道285号（富津内工区）	五城目町	11月28日	試掘	遺跡は確認されなかった。
12	建設部	地方道路交付金事業（改築） 国道101号（浜岡口工区）	男鹿市	7月25日	試掘	新発見の遺跡1か所（上宮ノ沢遺跡）を確認した。
13	建設部	秋田港アクサス道路整備事業 (公共)	秋田市	5月17・20日、6月23日、9月28日、11月22日	試掘	遺跡は確認されなかった。
14	建設部	地方道路交付金事業（改築） 国道107号（本庄道路）	由利本荘市	11月28日	試掘	周知の遺跡1か所（本庄城跡）の範囲が広がることを確認した。
15	建設部	県単道路改築事業 主要地方道横手大森大内線 (小境沢工区)	由利本荘市	10月20日	試掘	遺跡は確認されなかった。
16	建設部	地方道路等整備事業（建設） 主要地方道島海矢島線 (中直根工区)	由利本荘市	10月12日	試掘	遺跡は確認されなかった。
17	建設部	地方道路交付金事業（改築） 国道105号（塙内工区）	仙北市	11月18日	試掘	遺跡は確認されなかった。
18	建設部	地方道路交付金事業（交通安全） 主要地方道角館六郷線 (下桜田工区)	大仙市	7月4日	試掘	遺跡は確認されなかった。
19	建設部	地方道路交付金事業（交通安全） 国道105号（中郷工区）	大仙市	6月24日	試掘	遺跡は確認されなかった。
20	建設部	地方道路交付金事業 都市計画道路八幡根岸線 (根岸町工区)	横手市	9月5日	試掘	遺跡は確認されなかった。
21	建設部	地方道路交付金事業（改築） 国道398号（福庭工区）	湯沢市	4月12日、11月1日	踏査・試掘	遺跡は確認されなかった。
22	建設部	県単道路改築事業 主要地方道羽後向田舎合線 (田代工区)	羽後町	4月12日	踏査	試掘調査不要と判断した。
23	建設部	県単道路改築事業 国道398号（上到米工区）	羽後町	10月24日	試掘	遺跡は確認されなかった。
24	NEXCO 東日本	秋田自動車道の暫定2車線区間の 4車線化事業 (西工事区：前郷地区)	横手市	7月25日、9月22日、 10月5・21日	試掘	新発見の遺跡1か所（藤兵エ沢遺跡）を確認した。
25	NEXCO 東日本	秋田自動車道の暫定2車線区間の 4車線化事業 (東工事区：山内浅地区)	横手市	9月21日、11月11日	試掘	遺跡は確認されなかった。
26	国土交通省 秋田河川	雄物川下流河床掘削事業 (黒瀬地区)	秋田市	6月30日	試掘	遺跡は確認されなかった。
27	国土交通省 秋田河川	雄物川下流河床掘削事業 (女木本地区)	秋田市	7月5日	試掘	遺跡は確認されなかった。

## 第2章 実施要項

No.	事業者	事業名	事業地	調査期間	調査内容	調査結果
28	国土交通省 秋田河川国	雄物川下流河道削削事業 (種沢地区)	秋田市	8月8・9日	試掘	遺跡は確認されなかった。
29	国土交通省 湯沢河川	雄物川水系直轄河川改修事業 (山田地区)	湯沢市	7月4・22日	踏査・ 試掘	遺跡は確認されなかった。
30	国土交通省 湯沢河川	八幡平山系(秋田)直轄砂防事業 (片倉沢第2・3砂防堰堤)	仙北市	10月14日	踏査	事業地の一部は試掘調査不要と判断した。
31	国土交通省 湯沢河川	八幡平山系(秋田)直轄砂防事業 (蟹沢第2砂防堰堤)	仙北市	10月14日	踏査	事業地の一部は試掘調査不要と判断した。
32	国土交通省 湯沢河川	八幡平山系(秋田)直轄砂防事業 (赤倉沢第3砂防堰堤)	仙北市	10月14日	踏査	事業地の一部は試掘調査不要と判断した。
33	国土交通省 湯沢河川	八幡平山系(秋田)直轄砂防事業 (水沢第1砂防堰堤)	仙北市	10月14日	踏査	事業地の一部は試掘調査不要と判断した。
34	国土交通省 島海ダム	島海ダム建設事業	由利本荘市	6月23・30日、7月21・ 26日、8月4・9・26・ 29・31日、10月12・21・ 25日、11月1・8日	踏査・ 試掘	事業地の一部で土師器等を確認したが、遺跡の有無の判断は保留し、追加の試掘調査が必要と判断した。
35	建設部	県単砂防事業(中間口)	男鹿市	6月16日	踏査	試掘調査不要と判断した。
36	建設部	地滑り対策事業(栗台)	男鹿市	6月3日	踏査	試掘調査不要と判断した。
37	建設部	河川改修工事 馬鹿川	秋田市	8月17日	試掘	遺跡は確認されなかった。
38	建設部	火山砂防事業(東鶴川沢2)	由利本荘市	11月30日	試掘	周知の道路1か所(山崎鉛路)を確認した。
39	建設部	通常砂防事業(前田沢)	横手市	6月20日	試掘	遺跡は確認されなかった。
40	林野庁	立木販売(子古館跡周辺)	由利本荘市	5月29日	踏査	試掘調査不要と判断した。
41	林野庁	立木販売(小友岬遺跡周辺)	由利本荘市	5月29日	踏査	試掘調査不要と判断した。
42	林野庁	立木販売(上新田I遺跡周辺)	湯沢市	11月14・15日	試掘	新発見の遺跡2か所(柳沢I遺跡、 柳沢II遺跡)を確認した。
43	林野庁	生産請負・立木販売 (丹瀬山遺跡周辺)	北秋田市	11月18日	踏査	試掘調査不要と判断した。
44	林野庁	生産請負・立木販売 (岩屋山遺跡周辺)	大仙市	11月2日	踏査	試掘調査不要と判断した。
45	林野庁	生産請負・立木販売 (寺屋敷遺跡周辺)	大仙市	11月2日	踏査	試掘調査不要と判断した。
46	林野庁	生産請負・立木販売 (キリシタンかくれ穴周辺)	美郷町	11月2日	踏査	周知の遺跡1か所(キリシタンかくれ穴)を確認した。

No.	事業者	事業名	事業地	調査期間	調査内容	調査結果
47	林野庁	生産請負（上山駒跡周辺）	鹿角市	11月4日	踏査	周知の遺跡1か所（上山駒跡）を確認した。
48	林野庁	生産請負（中ノ渡り一里塚周辺）	鹿角市	11月4日	踏査	試掘調査不要と判断した。
49	林野庁	生産請負（明利又城跡周辺）	北秋田市	11月4日	踏査	周知の遺跡1か所（明利又城跡）を確認した。
50	林野庁	生産請負（小又川道路周辺）	北秋田市	11月18日	踏査	試掘調査不要と判断した。
51	林野庁	生産請負（バチ沢駒跡周辺）	大仙市	11月2日	踏査	試掘調査不要と判断した。
52	農林水産部	予防治山事業（白沢）	鹿角市	6月27日	踏査	事業地の一部は試掘調査不要と判断した。
53	農林水産部	復旧治山事業（三哲山）	大館市	6月7日	踏査	試掘調査不要と判断した。
54	農林水産部	予防治山事業（小柄沢）	大館市	6月7日	踏査	試掘調査不要と判断した。
55	農林水産部	復旧治山事業（横烈）	北秋田市	6月7日	踏査	試掘調査不要と判断した。
56	農林水産部	予防治山事業（下湯の沢）	藤里町	6月1日、7月7日	踏査・試掘	遺跡は確認されなかった。
57	農林水産部	予防治山事業（宝生口）	秋田市	5月31日	踏査	試掘調査不要と判断した。
58	農林水産部	予防治山事業（長田）	秋田市	5月31日	踏査	試掘調査不要と判断した。
59	農林水産部	予防治山事業（折沢）	仙北市	6月8日	踏査	試掘調査不要と判断した。
60	農林水産部	緊急予防治山事業（長戸呂）	仙北市	6月8日	踏査	試掘調査不要と判断した。
61	農林水産部	緊急予防治山事業（佐曾田）	仙北市	6月8日	踏査	試掘調査不要と判断した。
62	農林水産部	予防治山事業（堂ノ沢）	仙北市	6月8日、9月26日	踏査・試掘	周知の遺跡1か所（堂ノ沢遺跡）を確認した。
63	農林水産部	復旧治山事業（釜ノ川山）	仙北市	6月8日	踏査・試掘	事業地の一部は試掘調査不要と判断した。
64	農林水産部	予防治山事業（下木直）	大仙市	6月14日	踏査	周知の遺跡1か所（木直沢駒跡）を確認した。
65	農林水産部	復旧治山事業（一ノ沢）	東成瀬村	6月7日	踏査	試掘調査不要と判断した。

## 第2章 実施要項

No.	事業者	事業名	事業地	調査期間	調査内容	調査結果
66	JR東日本	在来線列車無線地上設備更新事業 (東羽本線秋田・青森間列車無線基地局新設工事:前山局)	北秋田市	5月11日	試験	遺跡は確認されなかった。
67	JR東日本	在来線列車無線地上設備更新事業 (東羽本線秋田・青森間列車無線基地局新設工事:岩ノ奥局)	北秋田市	5月12日	試験	遺跡は確認されなかった。
68	JR東日本	在来線列車無線地上設備更新事業 (東羽本線秋田・青森間列車無線基地局新設工事:能代市)	能代市	4月7日	試験	遺跡は確認されなかった。
69	JR東日本	在来線列車無線地上設備更新事業 (東羽本線秋田・青森間列車無線基地局新設工事:鶴形局)	能代市	4月8日	試験	遺跡は確認されなかった。
70	JR東日本	在来線列車無線地上設備更新事業 (東羽本線秋田・青森間列車無線基地局新設工事:鶴形局)	能代市	4月18日	試験	遺跡は確認されなかった。
71	JR東日本	在来線列車無線地上設備更新事業 (東羽本線秋田・青森間列車無線基地局新設工事:切石局)	能代市	5月17日	試験	周知の道路1か所(家ノ下I遺跡)の範囲が広がることを確認した。
72	JR東日本	在来線列車無線地上設備更新事業 (東羽本線秋田・青森間列車無線基地局新設工事:輪軸トンネル局②)	能代市	5月23日	試験	遺跡は確認されなかった。
73	JR東日本	在来線列車無線地上設備更新事業 (東羽本線秋田・青森間列車無線基地局新設工事:平山トンネル局①)	能代市	6月9日	試験	遺跡は確認されなかった。
74	JR東日本	在来線列車無線地上設備更新事業 (東羽本線秋田・青森間列車無線基地局新設工事:北金岡局)	三種町	4月5日	試験	遺跡は確認されなかった。
75	JR東日本	在来線列車無線地上設備更新事業 (東羽本線秋田・青森間列車無線基地局新設工事:庄渡局)	三種町	7月11日	試験	遺跡は確認されなかった。
76	教育庁 <sup>④</sup>	主要地方道十二号花輪大潟線移設開通事業	鹿角市	9月15・16・29・30日、 10月27・28日	試験	新発見の遺跡2か所(遠巻I遺跡・遠巻II遺跡)と周知の遺跡1か所(大曲環状列石)の範囲が広がることを確認した。

## 令和4年度分工事立会（令和4年4月～11月）

事業者	事業名	事業地	立会期間	立会結果	道路名
1 国土交通省 能代河川	国道7号桂城地区範囲共同事業	大館市	8月10日	遺構・遺物は確認されなかつた。	大館城跡
2 農林水産省 旭川	旭川農業水利事業 (三の堰用水路・大戸川注水路)	横手市	11月29日	遺構・遺物は確認されなかつた。	条里制跡
3 農林水産部	機能強化・老朽化対策事業 (下繁沢)	羽後町	11月22日	遺構・遺物は確認されなかつた。	岩瀬遺跡
4 教育庁	鹿角小坂地区統合整備事業	鹿角市	6月17・27日	地山から柱穴4基が検出された。	明堂長板II遺跡
5 教育庁	県立学校施設等総合管理計画推進事業	男鹿市	11月8日・16日	遺構・遺物は確認されなかつた。	茶臼館跡
6 JR東日本	在来線列車無線地上設備更新事業 (東羽本線秋田・青森間列車無線基地局新設工事:切石局)	能代市	5月17日	地山から柱穴1基、遺物包含層から土器1点が検出された。	家ノ下I遺跡

## 第2節 遺跡確認調査

### 1 調査の目的

開発事業計画に係る遺跡の広がり、埋没の度合い、時代とその性格を知るために当該地域での遺物の表面採集及び小規模の発掘調査（遺構確認面までの掘り下げが主体）を行い、当該埋蔵文化財の保護と保存を図る。また、早急な内容の把握が求められる重要な遺跡については、地中レーダー探査により遺跡内の様相を把握し、当該埋蔵文化財の保護と保存に向けた情報、資料を得る。

### 2 調査の方法

- (1) 地形を考慮したトレンチ及び試掘坑を設定して行う。また、遺構等が確認された場合、できる限り面的に調査範囲を広げて平面形を追求し遺構種別の特定に努める。
- (2) 確認された遺構、遺物、遺物包含層、堆積土の厚さ等は、実測図等により記録する。また、遺跡の全景と調査状況、遺構、遺物の確認状況等は写真撮影し、画像を記録する。
- (3) 使用する地形図は開発部局で作成した最大縮尺の図面とする。

### 3 事業主体者

秋田県教育委員会

### 4 調査担当者

秋田県埋蔵文化財センター

副主幹(兼)班長	村上 義直	副主幹	宇田川 浩一
学芸主事	鈴木 裕	学芸主事	櫻庭 悅央
学芸主事	山村 剛	文化財主査	高橋 和成
文化財主任	赤星 純平	文化財主事	小山 美紀
文化財主事	森谷 康平	文化財主事	大上 立朗

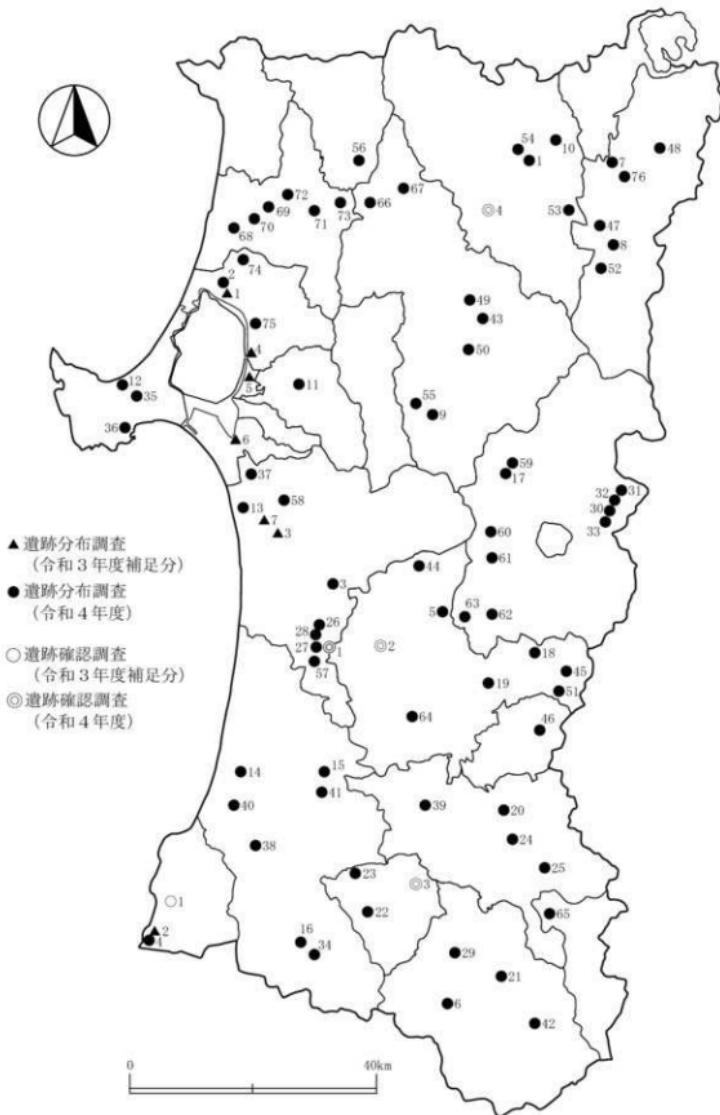
### 5 調査対象地域及び事業名

#### (1) 令和3年度補足分

No.	事業者名	事業名	遺跡名(所在地)	調査期間	担当者
1	国土交通省 秋田河国	国道7号遊佐象潟道路事業	大道遺跡 (にかほ市)	令和4年3月7日 ～3月18日	大上・鈴木・ 高橋

#### (2) 令和4年度分

No.	事業者名	事業名	遺跡名(所在地)	調査期間	担当者
1	国土交通省 秋田河国	雄物川下流激甚災害対策 特別緊急事業(種沢地区)	雄和金ヶ崎遺跡 (秋田市)	令和4年4月18日 ～4月22日	森谷・櫻庭
2	国土交通省 湯沢河国	雄物川水系直轄河川改修 事業(寺館大巻地区)	大川端道ノ上遺跡 (大仙市)	令和4年10月17日 ～11月4日	宇田川・ 山村
3	県建設部 道路課	交通安全対策事業 (通学路緊急対策) 主要地方道大曲大森羽後線 (安良町工区)	福島遺跡 (羽後町)	令和4年10月31日 ～11月9日	小山・村上
4	産業労働部	大館工業団地開発事業	片貝家ノ下遺跡 (大館市)	令和4年8月30日 ～8月31日	村上・高橋



第1図 遺跡分布調査・遺跡確認調査地点図

## 第3章 調査の記録

### 第1節 遺跡分布調査

#### 1 令和3年度補足分

##### (1) 国道7号大曲歩道整備事業



##### (2) 国道7号道佐象潟道路事業



##### (3) 都市計画街路事業都市計画道路川尻広面線



##### (4) 在来線列車無線地上設備更新事業(奥羽本線秋田・青森間列車無線基地局新設工事・鶴川局)



## (5) 在来線列車無線地上設備更新事業(奥羽本線秋田・青森間列車無線基地局新設工事:八郎潟町)

地点	所在地	現況
1 南秋田郡八郎潟町字中田	駅構内	<p><b>【概要】</b> 事業地内の試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物ともに確認できず、今回の対象地については埋蔵文化財対応は生じないと判断した。 本基地局についての埋蔵文化財対応は終了である。</p>

## (6) 在来線列車無線地上設備更新事業(奥羽本線秋田・青森間列車無線基地局新設工事: 大久保局)

地点	所在地	現況
1 開城市大久保字街道下	駅構内	<p><b>【概要】</b> 事業地内の試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物ともに確認できず、今回の対象地については埋蔵文化財対応は生じないと判断した。 本基地局についての埋蔵文化財対応は終了である。</p>

## (7) 在来線列車無線地上設備更新事業(奥羽本線秋田・青森間列車無線基地局新設工事: 秋田貨物局)

地点	所在地	現況
1 秋田市泉音野	駅構内	<p><b>【概要】</b> 事業地内の試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物ともに確認できず、今回の対象地については埋蔵文化財対応は生じないと判断した。 本基地局についての埋蔵文化財対応は終了である。</p>

## 2 令和4年度分

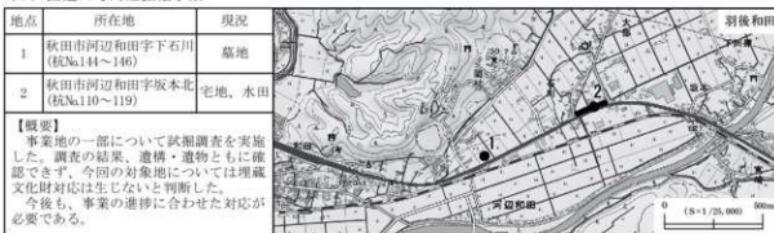
## (1) 国道7号有浦地区電線共同溝事業

地点	所在地	現況
1 大館市有浦3丁目(杭No.0~13)	歩道	
2 大館市有浦1丁目(杭No.13~31)	歩道	<p><b>【概要】</b> 事業地の一部について試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物ともに確認できず、今回の対象地については埋蔵文化財対応は生じないと判断した。 本事業についての埋蔵文化財対応は終了である。</p>

## (2) 国道7号大曲歩道整備事業

地点	所在地	現況
1 山本郡三種町鶴川東本田(杭No.2~23)	歩道	<p><b>【概要】</b> 事業地内の試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物ともに確認できず、今回の対象地については埋蔵文化財対応は生じないと判断した。下り車線側杭No.5~14については、掘削を伴わず既存側溝をそのまま利用する施工内容に変更となつたため、試掘調査不要と判断した。 本事業についての埋蔵文化財対応は終了である。</p>

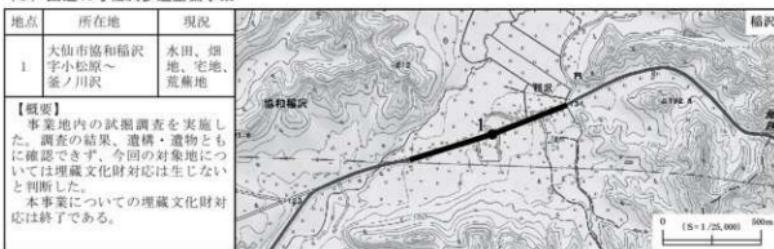
## (3) 国道13号河辺拡幅事業



## (4) 国道7号遊佐象潟道路事業



## (5) 国道46号稻沢歩道整備事業



## (6) 国道13号横堀道路事業



## (7) 地方道路交付金事業(交通安全)・交通安全対策事業(通学路緊急対策) 国道282号(西町工区)

地点	所在地	現況	遺跡名	時代	遺構・遺物
1	鹿角市十和田毛馬内小比泥 (杭No.35~38)	宅地、畑地	—	近世以降	柱穴様ピット
2	鹿角市十和田毛馬内小比泥 (杭No.21~30)	宅地、畑地	—	近世以降	土坑・柱穴様ピット、砥石

## 【概要】

事業地の東には周知の遺跡「当麻館跡」が隣接する。事業地の一部について試掘調査を実施した。調査の結果、地点1では十和田山火山灰の堆積と、これを切って掘り込まれた柱穴様ピットを確認した。地点2では火山灰は確認されなかったが、地点1と同時期かこれより新しい時期と推定される層位で土坑、柱穴様ピットを確認した。地点2の造構確認面直上層からは砥石が1点出土した。いずれも近世以降の所産と捉えるのが妥当と判断した。鹿角市との協議の結果、今回の対象地については埋蔵文化財包蔵地として取り扱う必要がないと判断した。  
今後も、事業の進捗に合わせた対応が必要である。



## (8) 交通安全対策事業一般県道根瀬尾去沢線(松館工区)

地点	所在地	現況
1	鹿角市八幡平松館 (杭No.35~38)	水田
2	鹿角市八幡平松館 (杭No.18~23)	畑地

## 【概要】

事業地の一部について試掘調査を実施した。調査の結果、遺構、遺物ともに確認できず、今回の対象地については埋蔵文化財対応は生じないと判断した。

今後も、事業の進捗に合わせた対応が必要である。



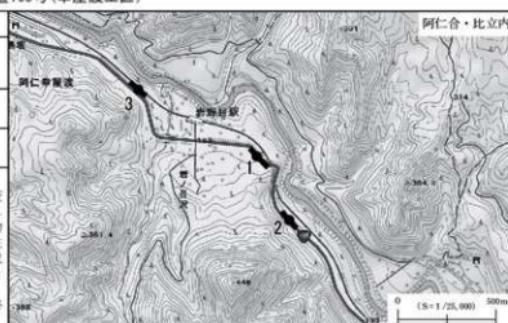
## (9) 地方道路交付金事業(改築) 国道105号(幸屋渡工区)

地点	所在地	現況
1	北秋田市阿仁幸屋渡 岩野目沢道上 (杭No.37~40)	水田
2	北秋田市阿仁幸屋渡 折子沢(杭No.0~29)	山林
3	北秋田市阿仁幸屋渡 鳥坂(杭No.72~81)	山林

## 【概要】

事業地内の地点1については試掘調査を、地点2・3については踏査を実施した。調査の結果、地点1では遺構・遺物ともに確認できず、埋蔵文化財対応は生じないと判断した。地点2・3は、現況の地形と施工内容から、試掘調査不要と判断した。

本事業についての埋蔵文化財対応は終了である。



## (10) 地方道路等整備事業(建設) 主要地方道大館十和田湖線(雪沢工区)

地点	所在地	現況	遺跡名	時代	遺構・遺物
1	大館市雪沢字小雪沢 (杭No.52~66)	水田	—	—	—
2	大館市雪沢字下中羽立 (杭No.68~76)	水田、荒蕪地	下中羽立遺跡(新発見)	縄文	縄文土器片・剥片石器・石皿

**【概要】**  
事業地の一部について試掘調査を実施した。調査の結果、地点2で縄文時代の遺物包含層を検出し、新発見の遺跡1か所が事業に係ることを確認した。調査範囲を広げたが、遺物の出土が散漫で、遺構も確認できなかったことから確認調査は不要と判断した。本地点で施工する場合は、予め文化財保護法94条に基づく手続きが必要である。  
今後も、事業の進捗に合わせた対応が必要である。

## (11) 地方道路等整備事業(建設) 国道285号(富津内工区)

地点	所在地	現況	遺跡名	時代	遺構・遺物
1	南秋田郡五城目町 富津内中津又 豊ノ口 (杭No.61~63)	水田	—	—	—

**【概要】**  
事業地の一部について試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物ともに確認できず、今回の対象地については埋蔵文化財対応は生じないと判断した。  
今後も、事業の進捗に合わせた対応が必要である。

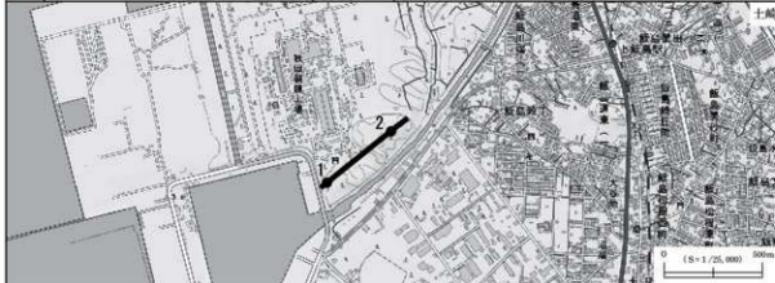
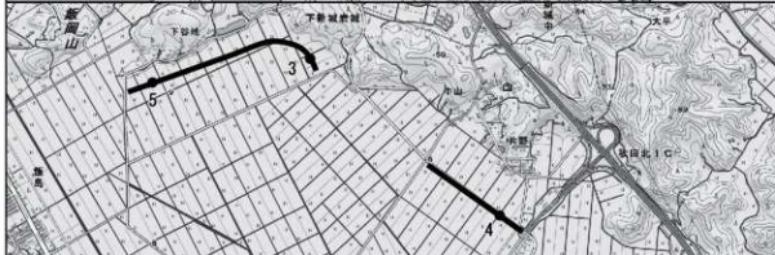
## (12) 地方道路交付金事業(改築) 国道101号(浜間口工区)

地点	所在地	現況	遺跡名	時代	遺構・遺物
1	男鹿市男鹿中山町上宮ノ沢 (杭No.116~118)	山林	上宮ノ沢遺跡(新発見)	縄文	土坑・柱穴、 縄文土器・剥片石器

**【概要】**  
事業地の一部について試掘調査を実施した。調査の結果、新発見の遺跡1か所が事業に係ることを確認した。  
本地点も含めて、本事業について今後も、事業の進捗に合わせた対応が必要である。

## (13) 秋田港アクセス道路整備事業(公共)

地点	所在地	現況	【概要】
1	秋田市飯島古道下川端(杭No.0~20)	山林	事業地の一部について試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物ともに確認できず、今回の対象地については埋蔵文化財対応は生じないと判断した。
2	秋田市飯島古道下川端(杭No.20~35)	山林	
3	秋田市下新城岩城天池(杭No.197~241)	水田	
4	秋田市上新城中片野(杭No.274~306)	水田	
5	秋田市下新城岩城金光堤(杭No.185~197)	水田	

## (14) 地方道路交付金事業(改築) 国道107号 本荘道路

地点	所在地	現況	遺跡名	時代	遺構・遺物
1	由利本荘市切通	公園	—	—	—
2	由利本荘市尾崎	公園	本荘城跡(周知)	中世・近世	—
3	由利本荘市御門	造成地	本荘城跡(範囲拡大)	中世・近世	切土(堀跡か)、陶磁器片

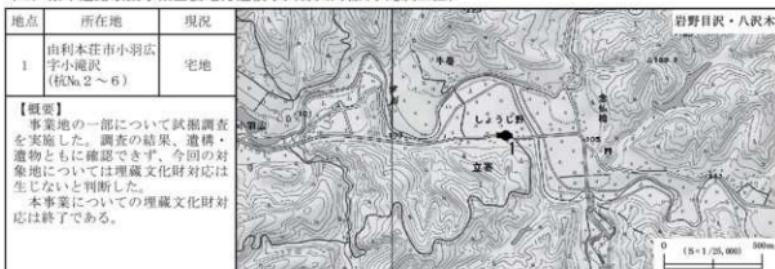
## 【概要】

事業地には、周知の遺跡「本荘城跡」の一部が含まれる。地点1・3で試掘調査を実施した。地点1では遺構・遺物ともに確認することはできず、埋蔵文化財対応は生じないと判断した。地点3では切土造成の痕跡(堀跡の可能性あり)と陶磁器片の出土を確認し、周知の遺跡の範囲に含めるべきものと判断した。地点2では踏査を実施し、取り扱い内容を決定するためには今後、試掘調査が必要と判断した。

地点2・3を含めて、本事業についても、事業の進捗に合わせた対応が必要である。



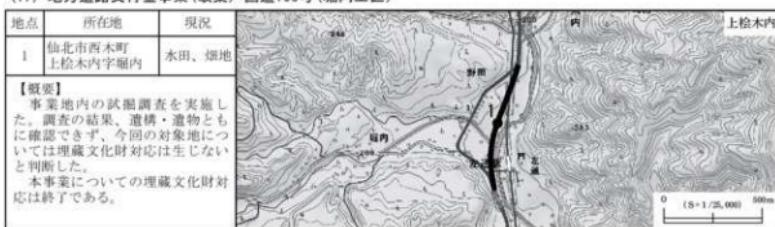
## (15) 県単道路改築事業主要地方道横手大森内線(小滝沢工区)



## (16) 地方道路等整備事業(建設) 主要地方道鳥海矢島線(中直根工区)



## (17) 地方道路交付金事業(改築) 国道105号(堀内工区)



## (18) 地方道路交付金事業(交通安全) 主要地方道角館六郷線(下桜田工区)



## (19) 地方道路交付金事業(交通安全) 国道105号(中鳩工区)

地点	所在地	現況
1 大仙市四つ屋 字中鳩		宅地

**【概要】**  
事業地内の試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物ともに確認できず、今回の対象地については埋蔵文化財対応は生じないと判断した。  
本事業についての埋蔵文化財対応は終了である。

## (20) 地方街路交付金事業都市計画道路八幡根岸線(根岸町工区)

地点	所在地	現況
1 横手市根岸町		宅地

**【概要】**  
事業地の一部について試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物ともに確認できず、今回の対象地については埋蔵文化財対応は生じないと判断した。  
今後も、事業の進捗に合わせた対応が必要である。

## (21) 地方道路交付金事業(改築) 国道398号(稲庭工区)

地点	所在地	現況
1 湯沢市稲庭町内記川原		水田
2 湯沢市皆瀬弥兵工川原		水田
3 湯沢市稲庭町中鳩		水田

**【概要】**  
事業地内の地点1については踏査を、地点2・3については試掘調査を実施した。調査の結果、地点1については地形と過年度の周辺試掘調査の結果から試掘調査不要と判断した。地点2・3については遺構・遺物ともに確認できず、今回の対象地については埋蔵文化財対応は生じないと判断した。  
今後も、事業の進捗に合わせた対応が必要である。

## (22) 県単道路改築事業主要地方道羽後向田館合線(田代工区)

地点	所在地	現況
1 雄勝郡羽後町田代		水田、宅地

**【概要】**  
事業地の一部について踏査を実施した。踏査の結果、今回の対象地については地形と過年度の周辺試掘調査の結果から試掘調査不要と判断した。  
本事業についての埋蔵文化財対応は終了である。

## (23) 県単道路改築事業国道398号(上到米工区)

地点	所在地	現況	地図
1	雄勝郡羽後町 上到米	水田	
【概要】 事業地内の試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物ともに確認できず、今回の対象地については埋蔵文化財対応は生じないと判断した。 本事業についての埋蔵文化財対応は終了である。			

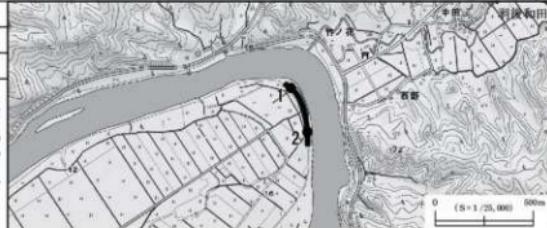
## (24) 秋田自動車道の暫定2車線区間の4車線化事業(西工事区：前郷地区)

地点	所在地	現況	遺跡名	時代	遺構・遺物
1	横手市前郷字水上沢、大松倉	水田、山林	—	—	石核
2	横手市前郷字水上沢、大松倉	水田	—	—	—
3	横手市前郷字藤兵沢	山林	藤兵沢遺跡(新発見)	縄文	剥片石器
【概要】 事業地内の試掘調査を実施した。調査の結果、新発見の遺跡1か所が事業に係ることを確認した。今後、事業の進捗に合わせた対応が必要である。					
					

## (25) 秋田自動車道の暫定2車線区間の4車線化事業(東工事区：山内役地区)

地点	所在地	現況	地図
1	横手市山内役字堤沢	山林	
2	横手市山内役字大堤沢、水上	山林	
【概要】 事業地内の試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物ともに確認できず、今回の対象地については埋蔵文化財対応は生じないと判断した。 本地区についての埋蔵文化財対応は終了である。			

## (26) 雄物川下流河道掘削事業(黒瀬地区)

地点	所在地	現況	地図
1	秋田市雄和相川	荒廃地	
2	秋田市雄和相川	荒廃地	
【概要】 事業地内の試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物ともに確認できず、今回の対象地については埋蔵文化財対応は生じないと判断した。 本事業についての埋蔵文化財対応は終了である。			

## (27) 雄物川下流河道掘削事業(女米木地区)

地点	所在地	現況	
1 秋田市雄和女米木鶴沢	水田		
2 秋田市雄和女米木鶴沢	水田		

**【概要】**  
事業地内の試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物ともに確認できず、今回の対象地については埋蔵文化財対応は生じないと判断した。  
本事業についての埋蔵文化財対応は終了である。

## (28) 雄物川下流河道掘削事業(種沢地区)

地点	所在地	現況	
1 秋田市雄和種沢戸草沢	荒廃地		
2 秋田市雄和種沢熊野堂	荒廃地		
3 秋田市雄和種沢熊野堂	荒廃地		
4 秋田市雄和種沢山王堂	荒廃地		

**【概要】**  
事業地内の試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物ともに確認できず、今回の対象地については埋蔵文化財対応は生じないと判断した。  
本事業についての埋蔵文化財対応は終了である。

## (29) 雄物川水系直轄河川改修事業(山田地区)

地点	所在地	現況	
1 湯沢市酒蔵	荒廃地		
2 湯沢市上闇	荒廃地		

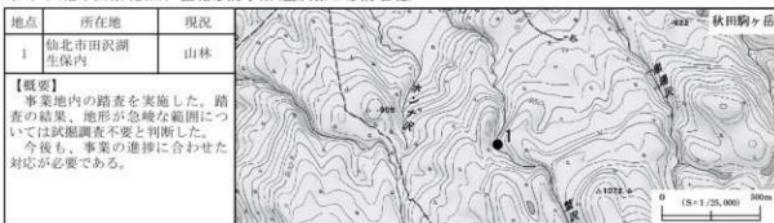
**【概要】**  
事業地内の試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物ともに確認できず、今回の対象地については埋蔵文化財対応は生じないと判断した。  
本事業についての埋蔵文化財対応は終了である。

## (30) 八幡平山系(秋田)直轄砂防事業(片倉沢第2・3砂防堰堤)

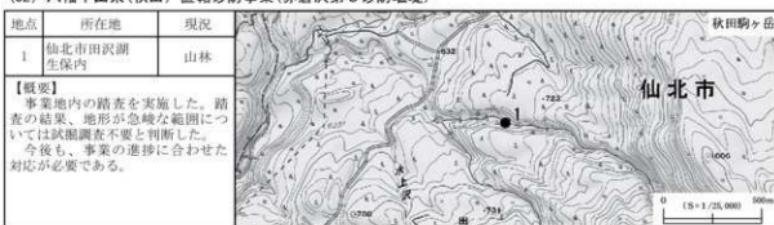
地点	所在地	現況	
1 仙北市田沢湖生保内	山林		
2 仙北市田沢湖生保内	山林		

**【概要】**  
事業地内の踏査を実施した。踏査の結果、地形が急峻な範囲については試掘調査不要と判断した。  
今後も、事業の進捗に合わせた対応が必要である。

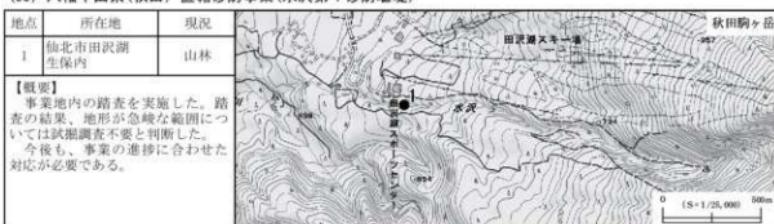
## (31) 八幡平山系(秋田) 直轄砂防事業(蟹沢第2砂防堰堤)



## (32) 八幡平山系(秋田) 直轄砂防事業(赤倉沢第3砂防堰堤)



## (33) 八幡平山系(秋田) 直轄砂防事業(水沢第1砂防堰堤)



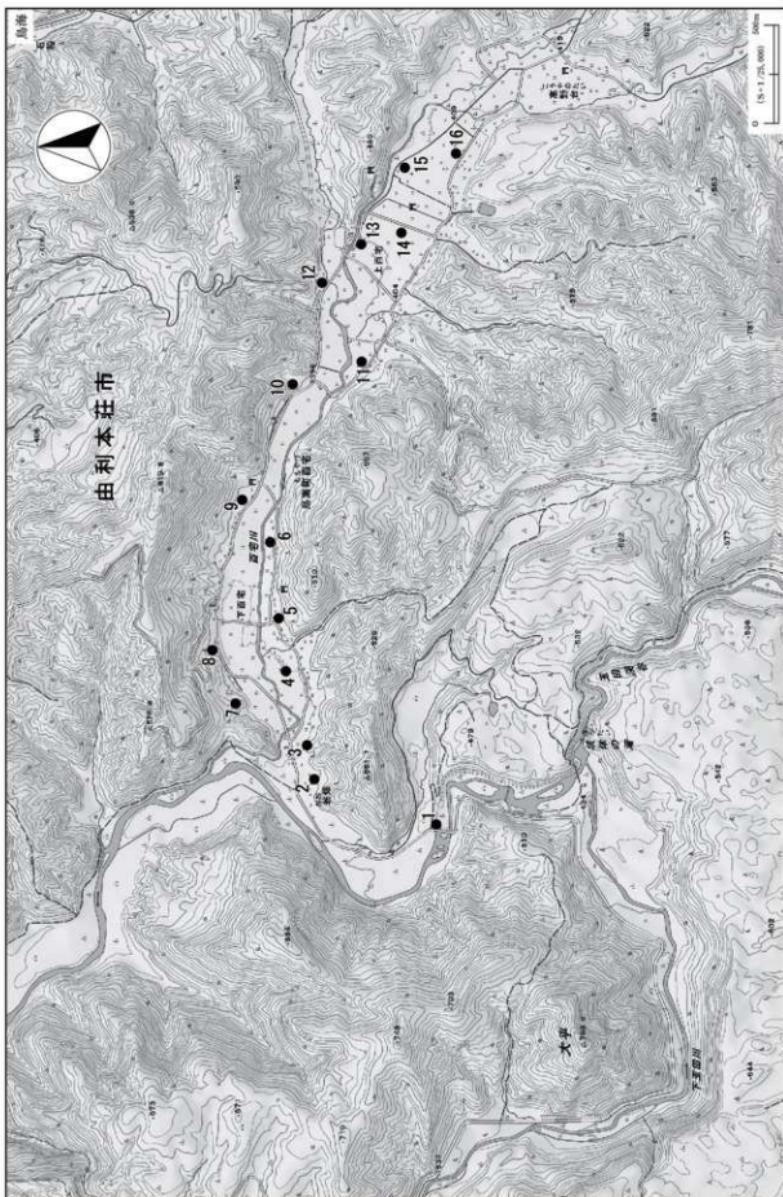
## (34) 烏海ダム建設事業

地点	所在地	現況	遺跡名	時代	遺構・遺物
1	由利本荘市島海町百宅字歳ノ上	山林	—	—	—
2	由利本荘市島海町百宅字翁畠	山林、宅地、荒廃地等	—	—	—
3	由利本荘市島海町百宅字清水沢	山林	—	—	—
4	由利本荘市島海町百宅字清水沢	水田	—	—	—
5	由利本荘市島海町百宅字館ノ下	宅地、水田、原野	—	—	—
6	由利本荘市島海町百宅字館ノ下	水田、宅地、原野等	—	—	—
7	由利本荘市島海町百宅字天配	山林	—	—	—
8	由利本荘市島海町百宅字堤堂	宅地、畑地、原野	—	—	—
9	由利本荘市島海町百宅字倉ノ下	宅地、畑地、山林	—	—	—
10	由利本荘市島海町百宅字岩ノ下、杉崎	山林、原野、畑地	—	—	—
11	由利本荘市島海町百宅字繫沢	水田	—	—	—
12	由利本荘市島海町百宅字山ノ沢	学校用地、山林、原野等	—	—	—
13	由利本荘市島海町百宅字中村	宅地、畑地等	—	—	—
14	由利本荘市島海町百宅字中村	水田	—	—	—
15	由利本荘市島海町百宅字野添、梵天平	水田、畑地、原野等	未定	古代	土坑。土師器
16	由利本荘市島海町百宅字梵天平	畑地、原野	未定	不明	土坑・柱穴

## 【概要】

各地点とも踏査を実施し、選定した箇所の試掘調査を実施した。調査の結果、地点15で土坑及び土師器小片を確認したが、遺構の残存度が悪く、遺物も微量であることから、周辺の試掘調査を継続した上で取り扱いを判断することとした。時期不明の土坑・柱穴を確認した地点16についても同様に、周辺の試掘調査を継続した上で判断とした。これ以外の地点では遺構・遺物は確認できず、埋蔵文化財対応は生じないと判断した。

本事業については、今後も、事業の進捗に合わせた対応が必要である。



## (35) 県単砂防事業（中間口）

地点	所在地	現況
1 男鹿市男鹿中 中間口千刈田		雜種地

**【概要】**  
事業地内の踏査を実施した。踏査の結果、事業地の地形が急峻であるため試掘調査不要と判断した。  
本事業についての埋蔵文化財対応は終了である。

## (36) 地滑り対策事業（泉台）

地点	所在地	現況
1 男鹿市船川港 船川小沢田		雜種地

**【概要】**  
事業地内の踏査を実施した。踏査の結果、事業地の地形が急峻であるため試掘調査不要と判断した。  
本事業についての埋蔵文化財対応は終了である。

## (37) 河川改修工事 馬踏川

地点	所在地	現況
1 秋田市金足堀内高田 (杭No. 83+12.5~86)		荒廃地
2 秋田市金足堀内高田 (杭No. 86~89+18.9)		荒廃地

**【概要】**  
事業地内の地点1については試掘調査を、地点2については踏査を実施した。調査の結果、地点1では遺構・遺物とともに確認されず、埋蔵文化財対応は生じないと判断した。地点2は河川の氾濫源であり、近代の地形変化の痕跡を確認したため試掘調査不要と判断した。  
本事業についての埋蔵文化財対応は終了である。

## (38) 火山砂防事業(東駄川川辺2)

地点	所在地	現況	遺跡名	時代	遺構・遺物
1 由利本荘市東駄川下山崎	山林		山崎館跡(周知)	中世	—

**【概要】**  
事業地内の試掘調査を実施した。調査の結果、周知の遺跡1か所が事業に係ることを確認した。遺物は出土せず、遺構も確認できないうことから、確認調査は不要と判断した。本地点で施工する場合は、予め文化財保護法94条に基づく手続が必要である。

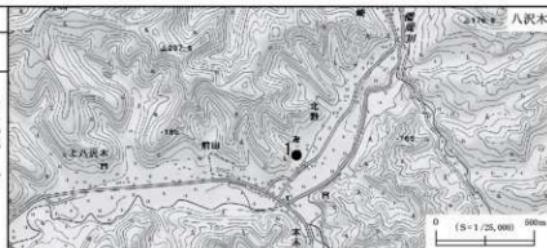
## (39) 通常砂防事業(前田沢)

地点	所在地	現況
1	横手市大森町八沢木字前田	荒蕪地、宅地

## 【概要】

事業地内の試掘調査を実施した。調査の結果、道構・遺物ともに確認できず、今回の対象地については埋蔵文化財対応は生じないと判断した。

本事業についての埋蔵文化財対応は終了である。



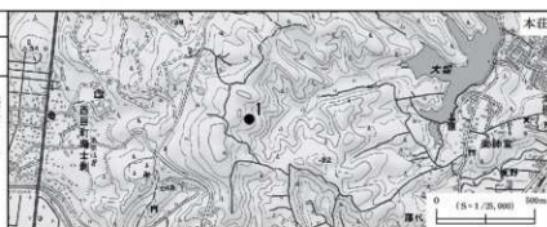
## (40) 立木販売(子吉館跡周辺)

地点	所在地	現況
1	由利本荘市薬師堂寺ノ沢	山林

## 【概要】

事業地内の踏査を実施した。踏査の結果、事業地の地形が急峻なため試掘調査不要と判断した。

今後も、事業の進捗に合わせた対応が必要である。



## (41) 立木販売(小友峠遺跡周辺)

地点	所在地	現況	遺跡名	時代	遺構・遺物
1	由利本荘市万願寺福田山	山林	小友峠遺跡(周知)	中世	—

## 【概要】

事業地内の踏査を実施した。踏査の結果、事業による地形改変が発生する可能性がある範囲は急峻な地形のため試掘調査不要と判断した。

今後も、事業の進捗に合わせた対応が必要である。

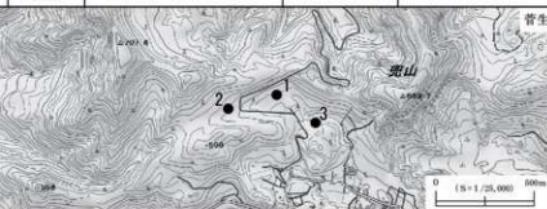


## (42) 立木販売(上新田Ⅰ遺跡周辺)

地点	所在地	現況	遺跡名	時代	遺構・遺物
1	湯沢市高松字三途川山	山林	柳沢Ⅰ遺跡(新発見)	縄文	剥片石器・石皿
2	湯沢市高松字三途川山	山林	柳沢Ⅱ遺跡(新発見)	縄文	石皿
3	湯沢市高松字三途川山	山林	—	—	—

## 【概要】

事業地内の試掘調査を実施した。調査の結果、新発見の遺跡2か所が事業に係ることを確認した。今後、事業の進捗に合わせた対応が必要である。



## (43) 生産請負・立木販売(丹瀬口遺跡周辺)

地点	所在地	現況	
1 北秋田市森吉	山林		<p><b>【概要】</b> 事業地内の踏査を実施した。踏査の結果、工事は既存の林道が利用され、事業による地形改変が発生する可能性がある範囲は急峻な地形であり試掘調査不要と判断した。 本事業についての埋蔵文化財対応は終了である。</p>

## (44) 生産請負・立木販売(岩屋山遺跡周辺)

地点	所在地	現況	
1 大仙市協和船岡	山林		<p><b>【概要】</b> 事業地内の踏査を実施した。踏査の結果、事業による地形改変が発生する可能性がある範囲は急峻な地形であり試掘調査不要と判断した。 本事業についての埋蔵文化財対応は終了である。</p>
2 大仙市協和船岡	山林		

## (45) 生産請負・立木販売(寺屋敷遺跡周辺)

地点	所在地	現況	
1 大仙市太田町 真木山	山林		<p><b>【概要】</b> 事業地内の踏査を実施した。踏査の結果、事業による地形改変が発生する可能性がある範囲は急峻な地形であり試掘調査不要と判断した。 本事業についての埋蔵文化財対応は終了である。</p>
2 大仙市太田町 真木山	山林		

## (46) 生産請負・立木販売(キリシタンかくれ穴周辺)

地点	所在地	現況	遺跡名	時代	遺構・遺物
1 仙北郡美郷町千屋	山林		キリシタンかくれ穴(周知)	近世	—
2 仙北郡美郷町千屋	山林		—	—	—

**【概要】**  
事業地内の踏査を実施した。踏査の結果、事業による地形改変が発生する可能性がある範囲は急峻な地形であり試掘調査不要と判断した。また、周知の遺跡内での事業は行わないことを確認した。  
今後も、事業の進捗に合わせた対応が必要である。

## (47) 生産請負(上山館跡周辺)

地点	所在地	現況	遺跡名	時代	遺構・遺物
1 鹿角市尾去沢上山	山林		上山館跡(周知)	中世	—

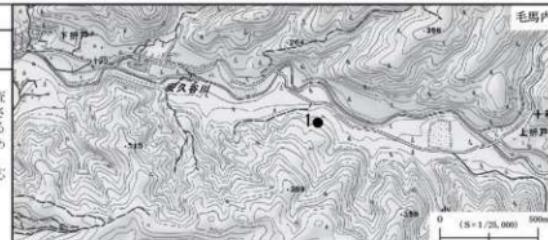
**【概要】**  
事業地内の踏査を実施した。踏査の結果、遺跡範囲内では事業による地形改変の可能性がないため試掘調査不要と判断した。  
今後も、事業の進捗にあわせた対応が必要である。



## (48) 生産請負(中ノ渡り一里塚周辺)

地点	所在地	現況	遺跡名	時代	遺構・遺物
1 鹿角市十和田 大陽折戸	山林				

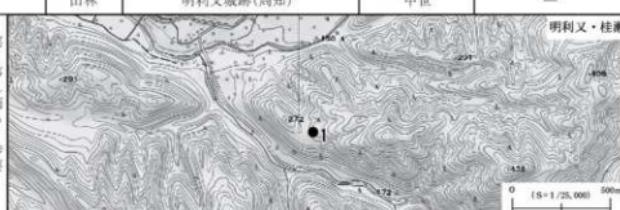
**【概要】**  
事業地内の踏査を実施した。踏査の結果、工事は既存の林道が利用され、事業による地形改変が発生する可能性がある範囲は急峻な地形であり試掘調査不要と判断した。  
本事業についての埋蔵文化財対応は終了である。



## (49) 生産請負(明利又城跡周辺)

地点	所在地	現況	遺跡名	時代	遺構・遺物
1 北秋田市七日市	山林		明利又城跡(周知)	中世	—

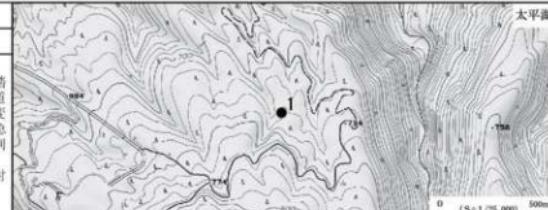
**【概要】**  
事業地内の踏査を実施した。踏査の結果、周知の遺跡1か所が事業に係ることを確認した。事業地を伐採計画から外すこととなつた。  
今後も、事業の進捗にあわせた対応が必要である。



## (50) 生産請負(小又川遺跡周辺)

地点	所在地	現況	遺跡名	時代	遺構・遺物
1 北秋田市森吉	山林				

**【概要】**  
事業地内の踏査を実施した。踏査の結果、工事はほぼ既存の林道が利用され、事業による地形改変が発生する可能性がある範囲は急峻な地形であり試掘調査不要と判断した。  
本事業についての埋蔵文化財対応は終了である。



## (51) 生産請負(バチ沢館跡周辺)

地点	所在地	現況
1 大仙市太田町川口	山林	

**【概要】**  
事業地内の踏査を実施した。踏査の結果、事業による地形改変が発生する可能性がある範囲は急峻な地形であり試掘調査不要と判断した。  
本事業についての埋蔵文化財対応は終了である。

## (52) 予防治山事業(白沢)

地点	所在地	現況
1 鹿角市八幡平平尻	山林	

**【概要】**  
事業地内の踏査を実施した。踏査の結果、事業による地形改変が発生する可能性がある範囲は急峻な地形であり試掘調査不要と判断した。  
今後も、事業の進捗に合わせた対応が必要である。

## (53) 復旧治山事業(三哲山)

地点	所在地	現況
1 大館市十二所	山林	

**【概要】**  
事業地内の踏査を実施した。踏査の結果、事業による地形改変が発生する可能性がある範囲は急峻な地形であり試掘調査不要と判断した。  
本事業についての埋蔵文化財対応は終了である。

## (54) 予防治山事業(小柄沢)

地点	所在地	現況
1 大館市柄沢	山林	

**【概要】**  
事業地内の踏査を実施した。踏査の結果、事業による地形改変が発生する可能性がある範囲は急峻な地形であり試掘調査は不要と判断した。  
本事業についての埋蔵文化財対応は終了である。

## (55) 復旧治山事業(根烈)

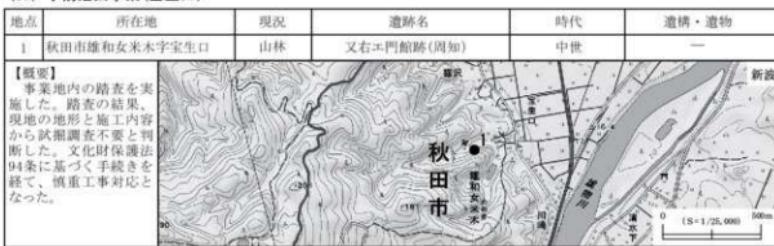
地点	所在地	現況
1 北秋田市阿仁根子	山林	

**【概要】**  
事業地内の踏査を実施した。踏査の結果、事業による地形改変が発生する可能性がある範囲は急峻な地形であり試掘調査不要と判断した。  
本事業についての埋蔵文化財対応は終了である。

## (56) 予防治山事業(下湯の沢)



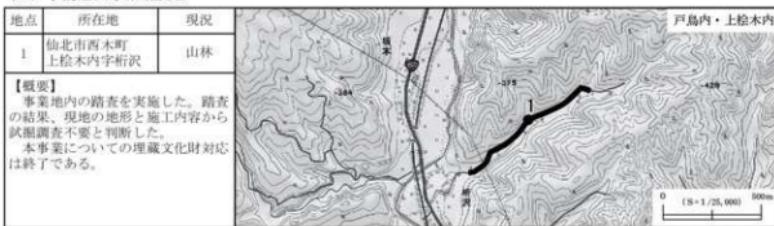
## (57) 予防治山事業(宝生口)



## (58) 予防治山事業(長田)



## (59) 予防治山事業(桁沢)



## (60) 緊急予防治山事業(長戸呂)

地点	所在地	現況	
1 仙北市西木町 桧木内字長戸呂	山林		

## 【概要】

事業地内の踏査を実施した。踏査の結果、現地の地形と施工内容から試掘調査不要と判断した。  
本事業についての埋蔵文化財対応は終了である。

## (61) 緊急予防治山事業(佐曾田)

地点	所在地	現況	
1 仙北市西木町 西明寺字佐曾田	山林		

## 【概要】

事業地内の踏査を実施した。踏査の結果、現地の地形と施工内容から試掘調査不要と判断した。  
本事業についての埋蔵文化財対応は終了である。

## (62) 予防治山事業(堂ノ沢)

地点	所在地	現況	遺跡名	時代	遺構・遺物
1 仙北市角館町川原	山林		堂ノ沢遺跡(周知)	縄文	剥片石器

## 【概要】

事業地内の試掘調査を実施した。調査の結果、遺物包含層から剥片が出土したもの、遺物の出土が散漫で、遺構も確認できなかつたため、確認調査は不要と判断した。本地点で施工する場合は、予め文化財保護法94条に基づく手続きが必要である。

## (63) 復旧治山事業(釜ノ川山)

地点	所在地	現況	
1 仙北市角館町 西長野釜川山	山林		

## 【概要】

事業地内の踏査を実施した。踏査の結果、現地の地形と施工内容から事業地の一部は試掘調査不要と判断した。

今後も、事業の進捗に合わせた対応が必要である。

## (64) 予防治山事業(下木直)

地点	所在地	現況	遺跡名	時代	遺構・遺物
1 大仙市南外字下木直山		山林	本直沢館跡(周知)	中世	—

**【概要】**  
事業地内の踏査を実施した。踏査の結果、現地の地形と施工内容から試掘調査不要と判断した。本地点で施工する場合は、予め文化財保護法94条に基づく手続が必要である。

## (65) 復旧治山事業(一ノ沢)

地点	所在地	現況			
1 雄勝郡東成瀬村 田子内字一ノ沢		山林			

**【概要】**  
事業地内の踏査を実施した。踏査の結果、現地の地形と施工内容から試掘調査不要と判断した。  
本事業についての埋蔵文化財対応は終了である。

## (66) 在来線列車無線地上設備更新事業(奥羽本線秋田・青森間列車無線基地局新設他工事：前山工事)

地点	所在地	現況			
1 北秋田市前山 字宇綱前		駅構内			

**【概要】**  
事業地内の試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物ともに確認できず、今回の対象地については埋蔵文化財対応は生じないと判断した。  
本事業局についての埋蔵文化財対応は終了である。

## (67) 在来線列車無線地上設備更新事業(奥羽本線秋田・青森間列車無線基地局新設他工事：鷹ノ巣工事)

地点	所在地	現況			
1 北秋田市縦子 字古閑		駅構内			

**【概要】**  
事業地内の試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物ともに確認できず、今回の対象地については埋蔵文化財対応は生じないと判断した。  
本事業局についての埋蔵文化財対応は終了である。

## (68) 在来線列車無線地上設備更新事業(奥羽本線秋田・青森間列車無線基地局新設他工事：東能代局)

地点	所在地	現況			
1 能代市字機織 鶴ノ目		駅構内			

**【概要】**  
事業地内の試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物ともに確認できず、今回の対象地については埋蔵文化財対応は生じないと判断した。  
本事業局についての埋蔵文化財対応は終了である。

## (69) 在来線列車無線地上設備更新事業(奥羽本線秋田・青森間列車無線基地局新設他工事：鶴形局)

地点	所在地	現況
1 能代市字戸草沢	駅構内	

**【概要】**  
事業地内の試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物ともに確認できず。今回の対象地については埋蔵文化財対応は生じないと判断した。  
本基地局についての埋蔵文化財対応は終了である。

(S=1/25,000) 500m

## (70) 在来線列車無線地上設備更新事業(奥羽本線秋田・青森間列車無線基地局新設他工事：鶴鳥局)

地点	所在地	現況
1 能代市鶴鳥	駅構内	

**【概要】**  
事業地内の試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物ともに確認できず。今回の対象地については埋蔵文化財対応は生じないと判断した。  
本基地局についての埋蔵文化財対応は終了である。

(S=1/25,000) 500m

## (71) 在来線列車無線地上設備更新事業(奥羽本線秋田・青森間列車無線基地局新設他工事：切石局)

地点	所在地	現況	遺跡名	時代	遺構・遺物
1 能代市二ツ井町切石字館腰	荒廃地		家ノ下I遺跡(範囲拡大)	古代	柱穴・土師器

**【概要】**  
事業地内の試掘調査を実施した。調査の結果、柱穴と土師器を検出し、周知の遺跡範囲が広がることを確認した。文化財保護法93条に基づく手続きを経て、工事立会で対応した。  
本基地局についての埋蔵文化財対応は終了である。

(S=1/25,000) 500m

## (72) 在来線列車無線地上設備更新事業(奥羽本線秋田・青森間列車無線基地局新設他工事：鶴形トンネル局(2))

地点	所在地	現況
1 能代市字鳥屋場	荒廃地	

**【概要】**  
事業地内の試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物ともに確認できず。今回の対象地については埋蔵文化財対応は生じないと判断した。  
本基地局についての埋蔵文化財対応は終了である。

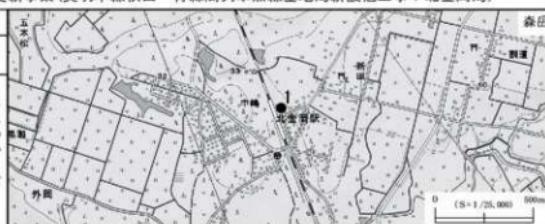
(S=1/25,000) 500m

## (73) 在来線列車無線地上設備更新事業(奥羽本線秋田・青森間列車無線基地局新設他工事：太平山トンネル局①)

地点	所在地	現況	
1	能代市二ツ井町 小繁字湯ノ沢	荒廃地	

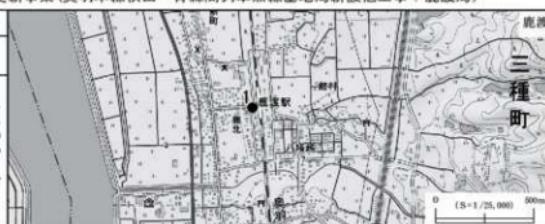
**【概要】**  
事業地内の試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物ともに確認できず、今回の対象地については埋蔵文化財対応は生じないと判断した。  
本基地局についての埋蔵文化財対応は終了である。

## (74) 在来線列車無線地上設備更新事業(奥羽本線秋田・青森間列車無線基地局新設他工事：北金岡局)

地点	所在地	現況	
1	山本郡三種町 志戸橋字新田	駅構内	

**【概要】**  
事業地内の試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物ともに確認できず、今回の対象地については埋蔵文化財対応は生じないと判断した。  
本基地局についての埋蔵文化財対応は終了である。

## (75) 在来線列車無線地上設備更新事業(奥羽本線秋田・青森間列車無線基地局新設他工事：鹿渡局)

地点	所在地	現況	
1	山本郡三種町 鹿渡字東二本柳	駅構内	

**【概要】**  
事業地内の試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物ともに確認できず、今回の対象地については埋蔵文化財対応は生じないと判断した。  
本基地局についての埋蔵文化財対応は終了である。

## (76) 特別史跡大湯環状列石移設関連事象

特別史跡大湯環状列石を縦断する主要地方道十二所花輪大湯線については、令和3年度に「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界文化遺産に登録された際の勧告における、「不適切要素の撤去・修景」に当たる事案となっている。これを受け秋田県では、道路の移設に向けた取組に着手し、令和3年度は大湯環状列石周辺の詳細地形図作成を行い、4年度は道路概略設計を実施している。今回の分布調査は、道路概略設計の中で複数の迂回ルートを設定する際に参考とするため、事前に大湯環状列石周辺の埋蔵文化財を把握することを目的として実施した。

なお、大湯環状列石は①特別史跡大湯環状列石の範囲、②埋蔵文化財包蔵地の大湯環状列石の範囲、③埋蔵文化財包蔵地の大湯環状列石周辺遺跡の範囲として区分けされてきたが、①の追加指定に伴い②が拡大され、その分③が縮小されてきた経緯があり、本来②と③は連続した遺跡であることから、③の名称を廃して②に一括するように整理した。

調査対象地は鹿角市十和田大湯、特別史跡大湯環状列石の北西及び南東に隣接する斜面である。対象範囲が広く傾斜地が多いため、事前に踏査し、地形や特別史跡からの距離などの条件（平坦地で特別史跡から近い位置）により、調査地点を便宜的に、地点1～8（第2図）として以下の記述を行う。

**地点1**は、特別史跡の北端部に近い斜面上位の平坦面である。南東から北西方向に緩く下り、中央部は沢で区切られる。No.1・2の調査結果から、斜面と平坦部の境界付近では大湯浮石が安定して確認できるが、平坦部では耕作による擾乱が地山に達し、大湯浮石とその上下の黒色土が混合して1層になっている。昭和期の航空写真や道の整備状況からみて、本地点は戦後に農地として利用され、その後植林されたとみられる。遺構・遺物は出土せず、大湯環状列石に接する地点ではあるが、遺跡が本地点までは広がらないと判断する。

**地点2**は、特別史跡F区の西隣りに位置する斜面中位の平坦面である。平坦面は、南西から北東方向に約200mの長さがあり、中央部は緩斜面になっている。No.3～6の調査結果から、平坦面の西部では地山となる黄褐色土の上に下から順に黒色土、大湯浮石、黒色土が堆積するのに対し、中央部から東部にかけては地山となる灰褐色～黄褐色の砂礫層の上部に暗褐色砂礫や黒色土、大湯浮石が堆積するという違いが窺えた。地山の色調変化は、平坦面の末端ほど黄褐色系が強く、上位斜面との接続部分ほど灰褐色系の傾向が認められる。これは本平坦面を浅く開析する湧水点から延びる沢の影響により、斜面側では全体的にグライ化し、末端ではその影響が少ないためと考えられる。堆積土が砂礫質になることも、沢の堆積物の影響によるものとみられる。遺構・遺物は、砂礫の認められないNo.6で土坑やまとまった土器が出土しており、砂礫質土の範囲であるNo.3・4では出土していない。ただし、平成21年度に鹿角市教育委員会が実施した試掘調査において、今回のNo.3・4における暗褐色砂礫層に対応すると考えられる層から土器片が出土していることから、散漫ながらも遺物が散布することが窺える。以上から、本地点は遺構・遺物の分布に偏りはあるが、一つの遺跡として捉えられる。No.6の地山直上の黒色土からは、縄文時代後期前葉～中葉の土器及び石器が出土しており、大湯環状列石に関連する遺跡になると判断する。

**地点3**は、特別史跡F区の西端から延びるやせ尾根状の緩斜面である。東から西に緩やかに下り、西隣りは急斜面になっている。No.7～9の調査結果から、緩斜面の中央部では特別史跡と同様に上から順に黒色土、大湯浮石、黒色土、黄褐色土が確認される一方で、先端部では黄褐色土の上に黒色土のみが認められる状況にある。これは、やせ尾根のため堆積土が流出することに加え、本地点を縦断

する林道の造成による影響が考えられる。このことは、No. 7 の西端で搅乱により大湯浮石までが失われていた状況からも想定できる。No. 7 ~ 9 では、地山直上の黒色土から縄文時代後期前葉、縄文時代晚期後葉へ弥生時代の土器や石器が出土している。特別史跡との地形的連続性や同時期の遺物が認められることから、大湯環状列石に関連する遺跡になると判断する。

**地点4**は、特別史跡F区西隣りの急斜面直下に位置する緩斜面で、2か所ある湧水により常時ぬかるんでいる。No. 10はぬかるみを避ける形で設定したが、4層浅黄色砂の掘り下げ途中で水が湧いたため掘削を断念しており、地山は確認できていない。1~3層は黒色土と褐灰色砂の互層で、特別史跡における地山上部の層序に類似するが、1層から縄文時代の石器を検出していることから、斜面上位からの流出土が複雑に堆積した結果と考えられる。本地点は、特別史跡F区の中でも遺物量が多い範囲に近接し、同範囲からの流入物とみられる遺物も出土していることから、大湯環状列石に関連する遺跡になると判断する。

**地点5**は、野中堂環状列石の北東側、特別史跡のA・B区境界付近の沢頭にある小規模な平坦面である。No. 11の調査結果から、この平坦面は斜面上位からの流入土が厚く堆積していることを確認した。遺構・遺物は出土せず、隣接する特別史跡範囲も遺構・遺物が希薄な範囲であることから、本地点には埋蔵文化財は存在しないと判断する。

**地点6**は、野中堂環状列石の南東側に位置する。特別史跡がある平坦面の末端に当たり、緩斜面である。No. 12の調査結果から、特別史跡内と同様に大湯浮石の上下を黒色土が挟む堆積状況を確認した。遺構・遺物は出土せず、隣接する特別史跡範囲も遺構・遺物が希薄な範囲であることから、本地点には埋蔵文化財は存在しないと判断する。

**地点7**は、特別史跡H区の東隣りに位置する緩斜面中位の小規模な平坦面である。No. 13の調査結果から、大湯浮石の上下を黒色土が挟み、下部の黒色土は厚く、色調により上下に分層できる。遺構は、下部黒色土の下層を掘り込む土坑を確認した。遺物は、下部黒色土の下層から早期後葉の土器が出土している。本地点は、遺構・遺物が確認されたことから、新発見の遺跡になる。出土土器の主体が縄文時代早期後葉であることから、大湯環状列石とは別の遺跡になると判断する。

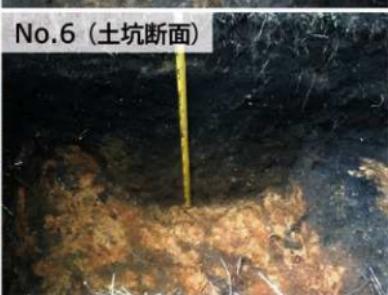
**地点8**は、特別史跡H区の南端から東に約100mに位置する斜面下位の平坦面で、南流する豊真木沢川沿いの平地より5mほど高い。No. 14・16・17では、上から順に黒色土、大湯浮石、黒色土、黒褐色土、暗褐色土、明黄褐色土が認められた。黒色土や黒褐色土の堆積が厚く、場所によっては地表から地山の明黄褐色土まで2m以上の深さとなる。No. 15の地点は、豊真木沢川に面したマウンド状の地形になっており、堆積土の確認から盛土ではなく自然地形の残丘であることが分かっている。遺物はNo. 14・16から、土器の小片が1点ずつ出土している。そのうち1点は縄文時代早期の貝殻文であることから、大湯環状列石とは別の遺跡で、密度の薄い散布地と判断する。

今回の調査により埋蔵文化財が確認された地点は、地点2・3・4・7・8の5か所である。このうち地点2・3・4は、地形の連続性や堆積物の関連性、同時期の遺物が出土していることなどから、特別史跡大湯環状列石と関係すると考えられるため、埋蔵文化財包蔵地の大湯環状列石に含めて考えるべき遺跡である。地点7・8については、時期的又は地形的隔たりがあることから、新発見の遺跡と判断した。地点7は遠巻I遺跡、地点8は遠巻II遺跡となる。

今回確認した埋蔵文化財包蔵地の大湯環状列石は、今後特別史跡大湯環状列石との関連性を検討すべき範囲である。一方、新発見の遠巻I・II遺跡は、状況に応じて取り扱いを検討する。



第2図 十二所花輪大湯線移設に係る試掘調査地点及び過去の調査地点





## 第2節 遺跡確認調査

### 1 令和3年度補足分

#### (1) 国道7号遊佐象潟道路事業

##### a 大道遺跡

- ① 遺跡所在地 秋田県にかほ市象潟町関字大道  
 ② 確認調査期間 令和4年3月7日～3月18日  
 ③ 確認調査対象面積 6,110 m<sup>2</sup>  
 ④ 工事区域内遺跡面積 7,210 m<sup>2</sup>  
 ⑤ 要本免掘調査面積 2,500 m<sup>2</sup>  
 ⑥ 遺跡の立地と現況

##### a 立地

遺跡は、日本海東北自動車道象潟ICから南へ約1kmに位置し、標高100～102mの小泥流台地の北東端に立地する。周辺には、御嶽公園館跡・上岩台遺跡・ヨシワ沢遺跡・古館遺跡・新館遺跡等がある。

##### b 現況

荒蕪地である。

##### ⑦ 確認調査の方法

調査は、地形に合わせて幅1.8m、長さ4.7～15.5mのトレンチを設定し、遺構・遺物の有無を確認しながら重機で掘り下げた。その後、トレンチ壁面及び底面を精査し、遺構・遺物の有無の確認と堆積土の観察を行った。調査の記録は、検出遺構の位置を示す平面図及び柱状図の作成と写真撮影によって行った。トレンチの総数は27本、実質調査面積は530 m<sup>2</sup>で調査対象面積の8.6%に相当する。

##### ⑧ 確認調査の結果

##### a 層序

Ia層は現表土、Ib～e層は削平を伴う現代の盛土、If層は旧表土である。II・III層は遺物包含層である。II層は、調査区東側にのみ堆積する。19トレンチ以南では炭化物がほとんど含まれないのに対し、以北では3%と比較的多く含まれる。III層は、調査区西側では削平を受けて部分的に残るのみであるが、調査区東側では削平を受けている24トレンチ北半及び25トレンチ周辺を除くほぼ全域で確認される。炭化物を3%含む。IV層は漸移層である。

##### b 検出遺構と出土遺物

調査の結果、21トレンチで土坑1基、23トレンチで土坑1基、柱穴様ピット1基を検出した。いずれもV層上面で検出した。21トレンチの土坑は、長軸1.84m、確認面からの深さは0.36mで、平面形は長楕円形を呈する。覆土はIII・IV層に由来する土である。覆土中からは縄文土器片が出土した。23トレンチの土坑は、長軸1.44m、確認面からの深さは0.24mで、平面形は長楕円形を呈する。覆土はIII・IV層に由来する土である。覆土中からは縄文時代中期と考えられる土器が出土した。同トレンチから検出した柱穴様ピットは、長軸0.42m、確認面からの深さは0.31mで、平面形は楕円形を呈する。覆土はIII層に由来する土である。

II～IV層からは縄文土器が出土した。時期は、II・III層が中期と考えられるが、IV層は時期不明である。II層から出土した縄文土器片は少なく、そのほとんどが20トレンチから出土している。III・IV



第3図 大道遺跡位置図

層からは土器片の他に石器も出土した。なお、Ⅲ・Ⅳ層から出土した遺物のほとんどが調査区東側で出土しており、特に20・21・23トレンチで比較的多く出土した。

#### ⑨ 所見

##### a 遺跡の種類

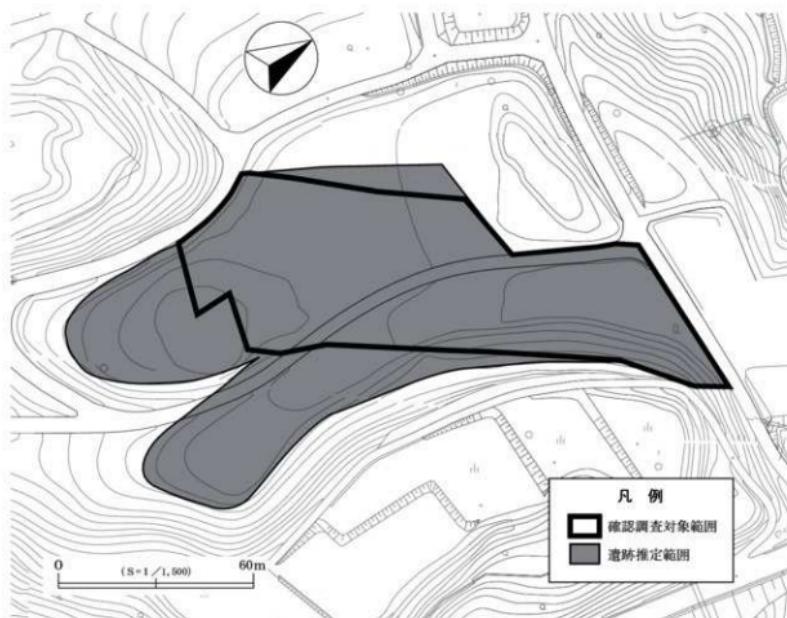
検出遺構と出土遺物から、縄文時代の集落跡と考えられる。

##### b 遺跡の範囲と工事区域

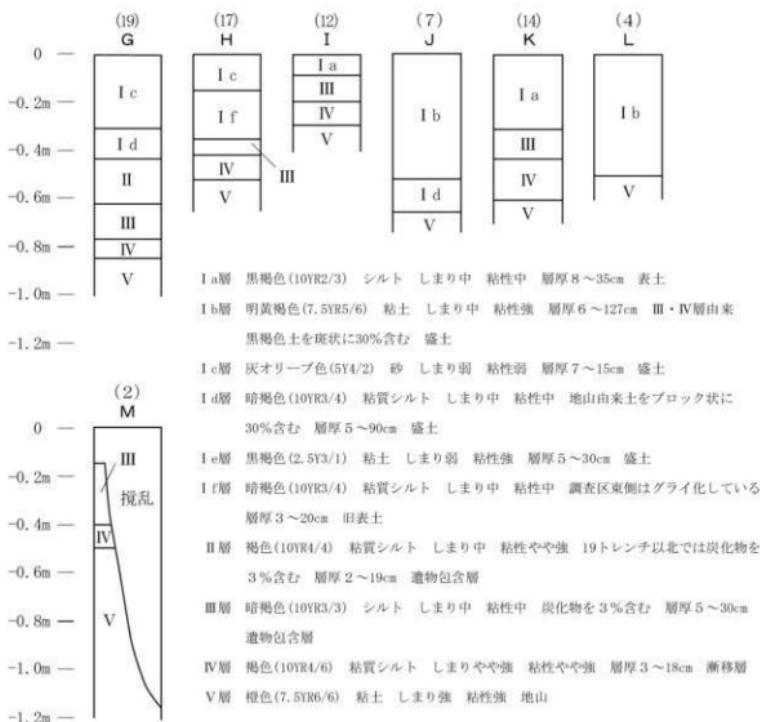
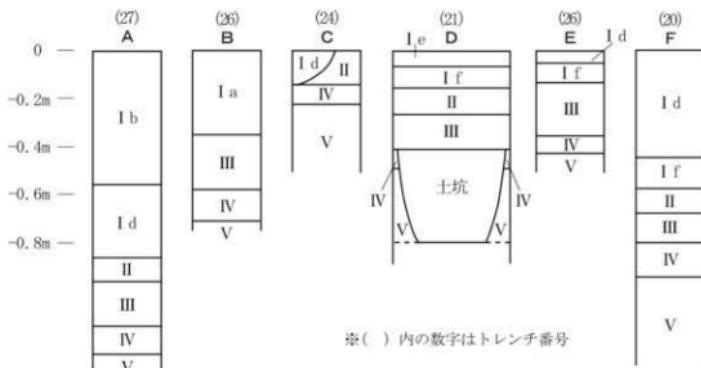
遺構は調査区東側でのみ確認され、調査区西側では遺物の分布も極めて散漫であることから、調査区西側の本発掘調査は不要と判断した。調査区東側の19トレンチ南端周辺ではV層上面が緩やかに南へ下り、最低部を経て18・22トレンチ北側で緩やかに上がることから埋没沢の可能性がある。19トレンチ以南では包含層は一部存在するものの、遺物はほとんど出土せず、遺構も検出されなかった。よって、調査区東側のうち19トレンチ以北の2,500m<sup>2</sup>を要本発掘調査対象範囲とした。

##### c 発掘調査時に予想される遺構・遺物

確認調査結果から、縄文時代の堅穴建物跡・土坑・柱穴様ピットの検出が予想される。遺物は、主に縄文時代中期の土器・石器が出土すると考えられる。



第4図 大道遺跡推定範囲と確認調査対象範囲



第5図 大道遺跡基本層序図



第6図 大道遺跡確認調査結果と要本発掘調査範囲図



21・23 トレンチ  
完掘状況  
(南→)



21 トレンチ  
土坑土層断面状況  
(東→)



23 トレンチ  
土坑土層断面状況  
(東→)

## 2 令和4年度分

## (1) 雄物川下流激甚災害対策特別緊急事業（種沢地区）

## 雄和金ヶ崎遺跡

- ① 遺跡所在地 秋田県秋田市雄和種沢地内  
 ② 確認調査期間 令和4年4月18日～4月22日  
 ③ 確認調査対象面積 750 m<sup>2</sup>  
 ④ 工事区域内遺跡面積 750 m<sup>2</sup>  
 ⑤ 要本発掘調査面積 750 m<sup>2</sup>  
 ⑥ 遺跡の立地と現況

## a 立地

遺跡は、秋田空港から南へ約5km、秋田自動車道協和ICから南西へ約6.6kmに位置し、南から西へ流下する雄物川の右岸に形成された標高15～17mの河岸段丘上に立地する。本確認調査対象地は、昭和59年、県教育委員会による立会調査で縄文時代前期の土器や石器が出土した場所の西側隣接地にあたる。

## b 現況

雑木林である。

## ⑦ 確認調査の方法

調査は、幅2mのトレンチを設定し、重機で遺構・遺物の有無を確認しながら掘り下げた。掘り下げ後、人力で壁面及び底面を精査し、遺構・遺物の検出作業を行い、その後土層柱状図作成、壁面の写真撮影を行った。遺物はその位置を記録し、取り上げた。実質調査面積は135 m<sup>2</sup>で、確認調査対象面積の18%に相当する。

## ⑧ 確認調査の結果

## a 層序

I層は現表土である。II層は旧表土で、草木根の混入が著しく、わずかに遺物の混入がみられる。III層は遺物包含層で、特にIV層との境界付近で遺物が多く出土する。IV層は、堅く締まる砂質シルト層で、4トレンチ以北にのみ堆積する。本層を掘り込む遺構が検出されたため、遺構検出面1とした。V層にはぶい黄橙色を呈する地山で、本層上面が遺構検出面2となる。なお、7・8トレンチはアスファルトや礫を多く含む造成土が地山面まで及んでおり、他トレンチで確認されたI～IV層は消失している。

## b 検出遺構と出土遺物

調査の結果、土坑2基、石器製作跡2基、時期不明の柱穴様ピット6基を検出した。土坑は4トレンチ内で2基検出した。半蔵したところ、底面までの深さは30cmで、縄文時代前期の遺物が出土した。1トレンチIV層中と6トレンチV層直上の2か所では石器剥片が集中して出土した。6トレンチでは石核とその周囲から剥片が多数出土した。

遺物は、縄文時代前期前葉の大木2式に相当する土器が多く出土した。石器は、石鏃・石匙・石籠・スクレイパーの他、頁岩の石核や剥片も出土している。また、I層中からは、土師器・須恵器も出土した。

## ⑨ 所見

## a 遺跡の種類

出土遺物から、縄文時代前期及び平安時代の散布地と推定される。



第7図 雄和金ヶ崎遺跡位置図

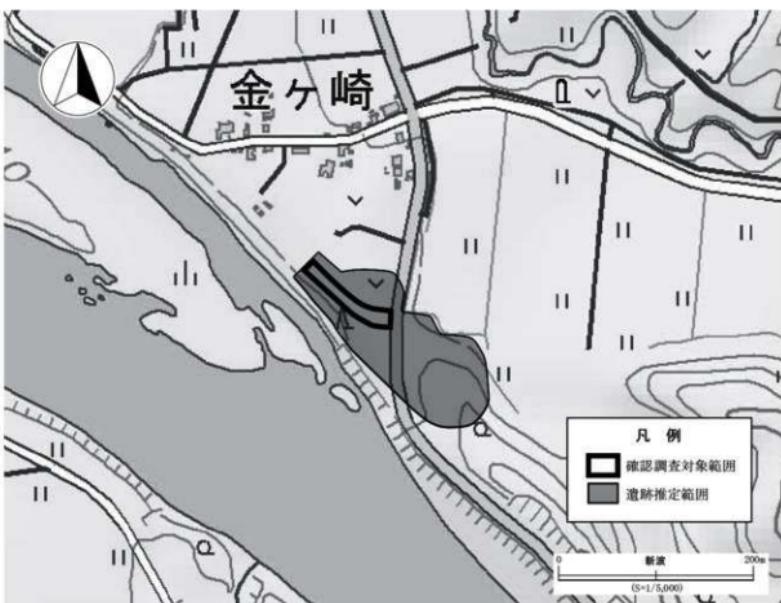
### b 遺跡の範囲と工事区域

粗密はあるものの、ほぼ全域で遺構・遺物が分布する。7・8トレンチは地山面まで造成が及んでいるが、掘り込みが深い土坑などの遺構が残る可能性がある。したがって、調査区全域（750 m<sup>2</sup>）で本発掘調査が必要と判断した。

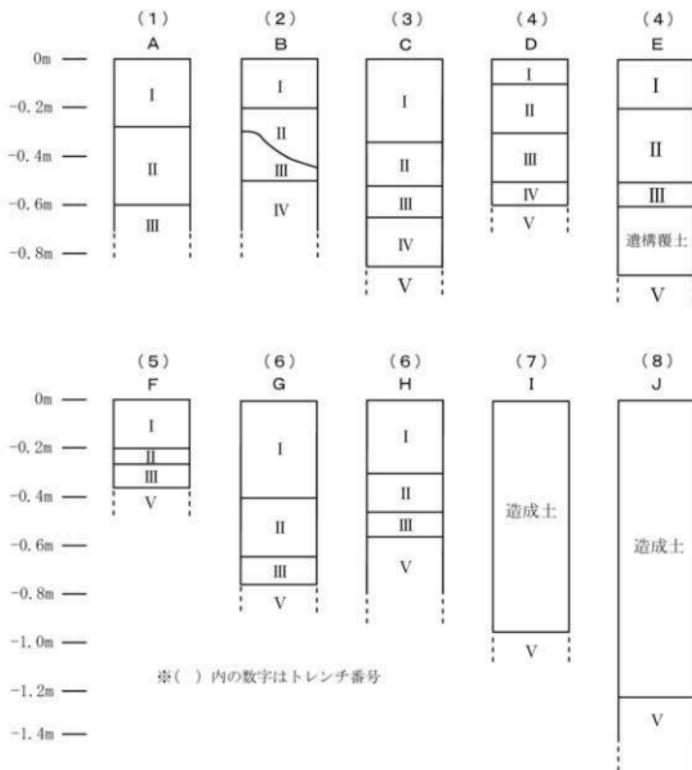
### c 発掘調査時に予想される遺構・遺物

縄文時代前期の土坑・柱穴様ピット・石器製作跡が検出することが予想される。また、土師器・須恵器が出土したことから、平安時代の遺構が検出される可能性もある。

遺物は、縄文時代前期の土器・石器や平安時代の土師器・須恵器が出土すると予想される。



第8図 雄和金ヶ崎遺跡推定範囲と確認調査対象範囲図



I層 黒褐色(10YR2/2) シルト しまり弱 粘性やや弱 層厚10~40cm 表土

II層 黒褐色(10YR2/3) 砂質シルト しまり弱 粘性やや弱 炭化物を粒状(1mm未満)に5%含む  
遺物を少量含む 層厚6~30cm 旧表土

III層 暗褐色(10YR3/4) シルト しまりやや強 粘性弱 地山由来明黄褐色粘土を粒状(1mm大)に3%含む  
層厚10~20cm 遺物包含層

IV層 楢色(10YR4/6) 砂質シルト しまり強 粘性やや弱 炭化物を粒状(1mm大)に3%含む  
層厚15~30cm 遺構検出面1

V層 にぶい黄橙色(10YR6/3) 粘土 しまり強 粘性弱 遺構検出面2 地山

第9図 雄和金ヶ崎遺跡基本層序図



第10図 雄和金ヶ崎遺跡確認調査結果と要本発掘調査範囲図



2 トレンチ土層断面状況  
(北東→)



4 トレンチ土坑  
土層断面状況  
(東→)



1 トレンチ内  
石器製作跡検出状況  
(北東→)

## (2) 雄物川系直轄河川改修事業(寺館大巻地区)

## 大川端道ノ上遺跡

- ① 遺跡所在地 秋田県大仙市強首字大川端道ノ上外  
 ② 確認調査期間 令和4年10月17日～11月4日  
 ③ 確認調査対象面積 12,000 m<sup>2</sup>  
 ④ 工事区域内遺跡面積 12,000 m<sup>2</sup>  
 ⑤ 要本免掘調査面積 2,100 m<sup>2</sup>  
 ⑥ 遺跡の立地と現況

## a 立地

遺跡は、JR奥羽本線峰吉川駅から南西へ約1.7kmに位置し、標高約17～18mの自然堤防上に立地する。南西約1kmには、残存湖である乙越沼がある。平成25年度には、今回の調査区を東西に分ける7,700 m<sup>2</sup>で本調査が行われ（現在稼働中の水門部分）、縄文時代の土坑墓や貯蔵穴及び中世の掘立柱建物跡や井戸跡等を検出している。周辺には、縄文時代では白仙遺跡・大巻遺跡・上野台IX遺跡、中世では白岩城跡・湯ノ沢城跡や集落跡である小平沢出口遺跡がある。

## b 現況

荒蕪地である。

## ⑦ 確認調査の方法

調査は、地形に合わせて幅1.8～16m、長さ10～160mのトレンチを設定し、遺構・遺物の有無を確認し、所々で深掘りを入れながら重機により掘り下げた。その後、トレンチ壁面及び底面を精査し、遺構・遺物の有無と堆積土の状況を確認した。調査の記録は、検出遺構の位置を示す平面図及び柱状図の作成と写真撮影によって行った。トレンチの総数は14本、実質調査面積は2,340 m<sup>2</sup>で、調査対象面積の19.5%に相当する。

## ⑧ 確認調査の結果

## a 層序

I a層は現表土、I b層は旧表土及び造成土、I c層は水田耕作土である。II～IV層は洪水堆積土で、平成25年度の調査結果によれば、II層は縄文時代から中世にかけての堆積土となるが、調査区全体で後世の削平を受けていたため、当該期の遺構・遺物は確認されなかった。またIII層は縄文時代前期の包含層である。IV層は無遺物層である。

## b 検出遺構と出土遺物

調査の結果、1トレンチ東端III a～III c層上面で焼土遺構5基、土坑1基を検出した。焼土遺構の被熱範囲は、長軸0.35～0.7m、幅0.3～0.6mである。また、土坑は長軸0.9m、確認面からの深さ0.2～0.3mと推定される。土坑の覆土は炭化物混じりの褐色砂である。遺構の周辺からは、縄文時代前期の土器片の他、石匙及び練石器・剥片が出土した。

## ⑨ 所見

## a 遺跡の種類

検出遺構と出土遺物から、縄文時代の集落跡と考えられる。

## b 遺跡の範囲と工事区域

西側調査区は遺構だけでなく、遺物の出土も確認されなかつたことから、本発掘調査は不要と判断した。東側調査区では、1トレンチ東端で、遺構検出面を3面確認した。時期差がなく、短期間に何度も雄物川の氾濫による離水・着水を繰り返していたと想定される。よって遺構、遺物の分布状況か

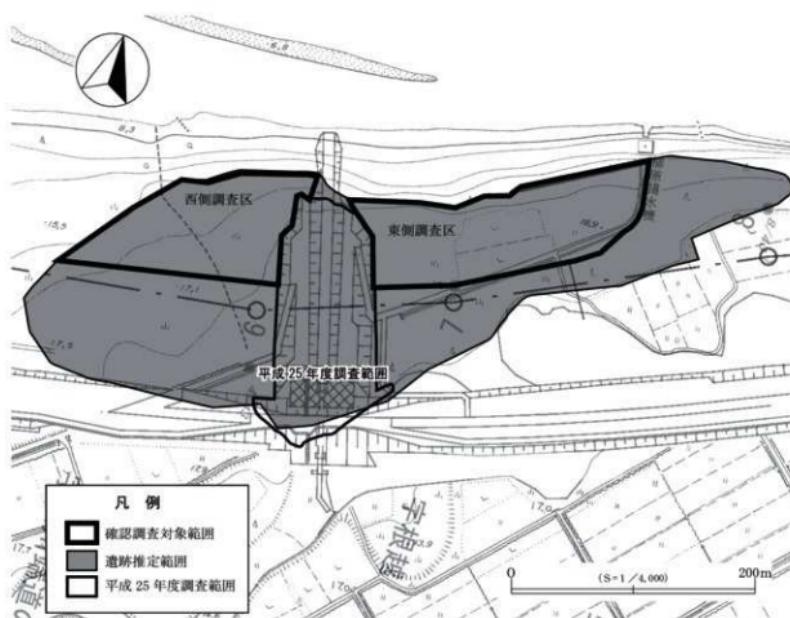


第11図 大川端道ノ上遺跡位置図

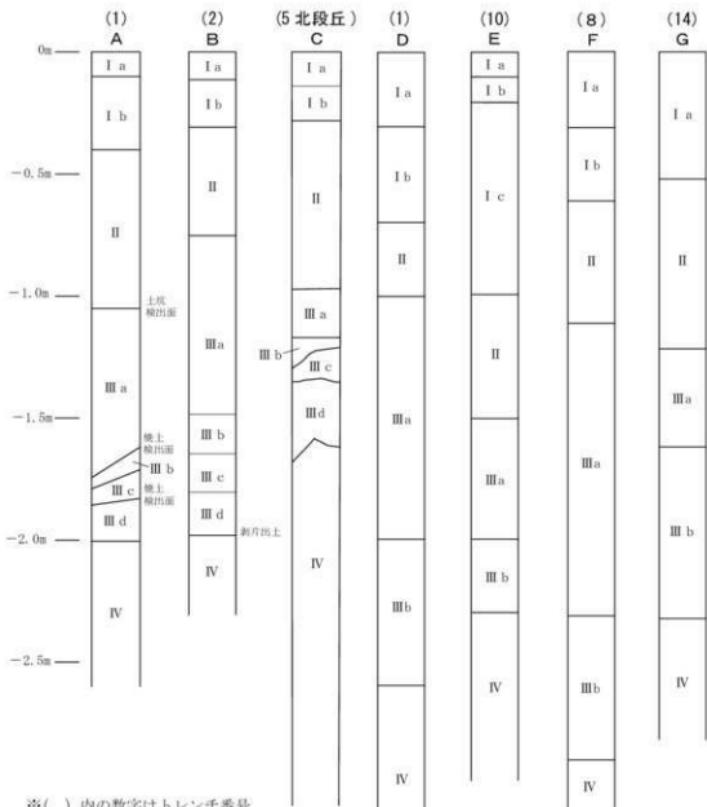
ら、東側調査区東端の2,100 m<sup>2</sup>を要本発掘調査対象範囲とした。

c 発掘調査時に予想される遺構・遺物

確認調査結果から、縄文時代の竪穴建物跡・焼土遺構・土坑・柱穴様ピットの検出が予想される。遺物は、主に縄文時代前期の土器・石器が出土すると考えられる。



第12図 大川端道ノ上遺跡推定範囲と確認調査対象範囲図



( ) 内の数字はトレンチ番号

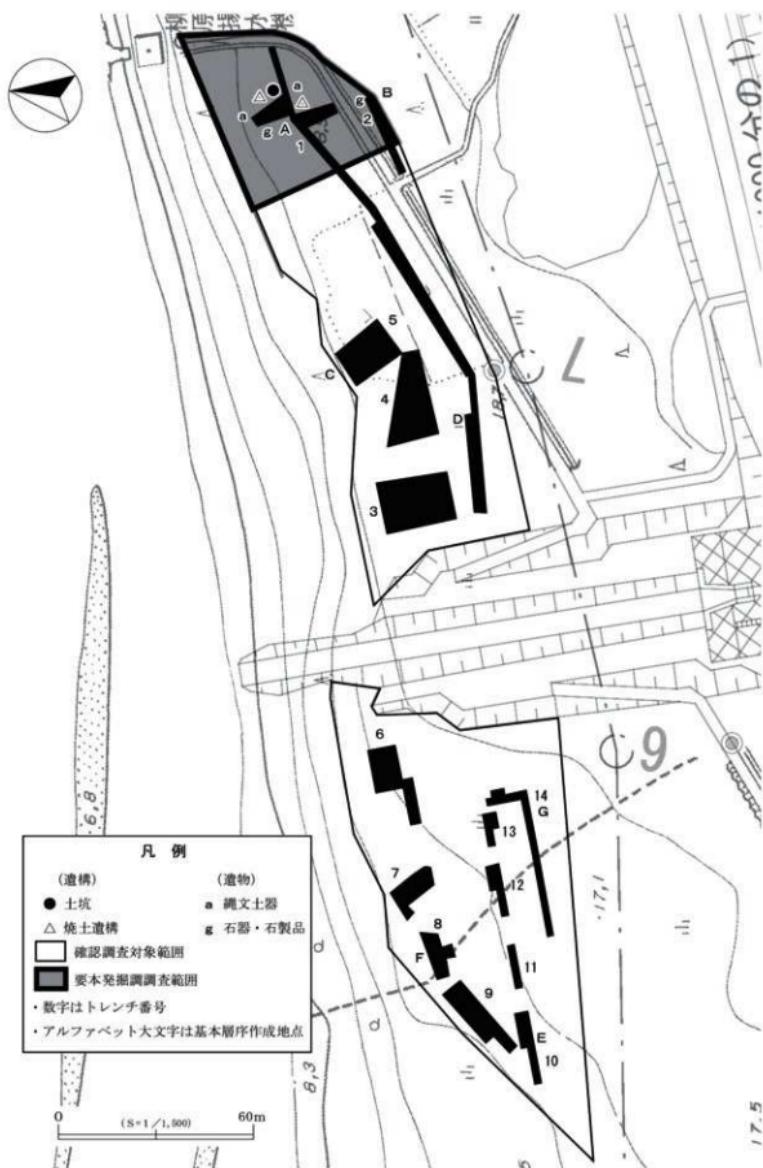
## 東側調査区東端

I a 層	黒褐色～褐灰色 (10YR3/2 ~ 4/1)	埴土	しまり強 粘性弱	層厚 10 ~ 31 cm	表土
I b 層	暗褐色～にぶい黄褐色 (10YR3/3 ~ 4/3)	砂質埴土	しまり中 粘性強	層厚 14 ~ 39 cm	旧表土
II 層	褐色	埴土	しまり強 粘性強	層厚 30 ~ 64 cm	洪水堆積層
III a 層	褐色～黄褐色 (10YR4/1 ~ 5/6)	埴土～砂質埴土	しまり強 粘性強	層厚 20 ~ 100 cm	遺構検出面
III b 層	褐色～にぶい黄褐色 (10YR4/4 ~ 5/4)	砂	しまりやや強 粘性弱	層厚 5 ~ 60 cm	遺物包含層
III c 層	褐色～にぶい黄褐色 (10YR4/4 ~ 5/4)	砂	しまり弱 粘性弱	層厚 6 ~ 16 cm	遺構検出面
III d 層	褐色～にぶい黄褐色 (10YR4/4 ~ 5/4)	砂	しまり弱 粘性弱	層厚 14 ~ 34 cm	遺物包含層
IV 層	褐色～にぶい黄褐色 (10YR4/4 ~ 5/4)	砂～砂質埴土の互層	しまり中 粘性弱～やや強	層厚 150 cm ~	洪水堆積層

## 西側調査区

I a 層	暗褐色 (10YR3/3)	埴土	しまり中 粘性やや強	層厚 10 ~ 31 cm	表土
I b 層	褐色 (10YR4/4)	埴土～輕埴土	しまり強 粘性強	層厚 14 ~ 39 cm	客土
I c 層	褐色 (10YR4/1 ~ 5/1)	重埴土	しまり強 粘性強	層厚 78 cm	水田耕作土
II 層	にぶい黄褐色～褐色 (10YR4/3 ~ 4/6)	埴土～重埴土	しまり強 粘性強	層厚 50 ~ 69 cm	
III a 層	褐色～にぶい黄褐色 (10YR4/6 ~ 5/4)	輕埴土～砂質埴土	しまり強 粘性強	層厚 40 ~ 120 cm	洪水堆積層
III b 層	にぶい黄褐色～にぶい黃橙色 (10YR5/4 ~ 6/4)	輕埴土、砂～砂質埴土	しまり強 粘性弱	層厚 20 ~ 69 cm	
IV 層	にぶい黄褐色～黃褐色 (10YR5/4 ~ 2.5Y5/4)	砂～砂質埴土～砂の互層	しまり強 粘性強	層厚 88 cm	洪水堆積層

第13図 大川端道ノ上遺跡基本層序図



第14図 大川端道ノ上遺跡確認調査結果と要本発掘調査範囲図



1 トレンチ  
焼土造構検出状況  
(西→)



1 トレンチ  
縄文土器出土状況  
(西→)



2 トレンチ東端  
土層断面状況  
(北→)

## (3) 交通安全対策事業(通学路緊急対策)

主要地方道大曲大森羽後線(安良町工区)

## 福島遺跡

- ① 遺跡所在地 秋田県雄勝郡羽後町足田字福島  
 ② 確認調査期間 令和4年10月31日～11月9日  
 ③ 確認調査対象面積 5,800 m<sup>2</sup>  
 ④ 工事区域内遺跡面積 5,310 m<sup>2</sup>  
 ⑤ 要本发掘調査面積 3,220 m<sup>2</sup>  
 ⑥ 遺跡の立地と現況  
 a 立地

遺跡は、JR奥羽本線十文字駅から西へ約11.0km、道の駅「うご」から北へ約4.1kmに位置し、北流して雄物川に注ぐ西馬音内川と新町川に挟まれたひばり野台地の北端に立地する。

昭和30年代と平成4年に行われた発掘調査では、縄文時代中期・晚期の土器・石器、平安時代の土師器・須恵器等が出土している。遺跡周辺は、古代雄勝城の擬定地のひとつとされる大久保郡山遺跡等、旧石器時代から中世に至るまでの遺跡が密集する地域となっている。

調査地内の標高は58.1～62.6mで、北側は畑地と低地、台地に分けられ、中央～南側は畑地として利用された丘陵地、南端は旧宅地となっている。

## b 現況

畑地、山林、原野となっている。

## ⑦ 確認調査の方法

調査は、地形に合わせて幅1.0～3.3m、長さ1.2～17.0mのトレンチを設定し、遺構・遺物の有無を確認しながら重機で掘り下げた。その後、トレンチ壁面及び底面を精査し、遺構・遺物の有無の確認と堆積土の観察を行った。調査の記録は、検出遺構の位置を示す平面図及び柱状図の作成と写真撮影によって行った。トレンチの総数は19本、実質調査面積は279 m<sup>2</sup>で調査対象面積の4.8%に相当する。

## ⑧ 確認調査の結果

## a 層序

I a層は現表土、I b層は現代の造成土、I c層は耕作土である。II層は遺物包含層である。調査区南側では、II層はII a層およびII b層に細分され、II a層からは縄文時代中期の遺物が確認された。II b層は埋没沢の堆積土である。III層は地山漸移層、IV層は地山である。遺構確認面はIII層もしくはIV層である。

## b 検出遺構と出土遺物

調査の結果、6～10トレンチで竪穴建物跡2棟、土坑6基、柱穴様ピット3基を検出した。調査区中央～南側の丘陵地は畑地として利用するため削平されており、検出した遺構の掘り込み面は失われ、包含層も残存していない。竪穴建物跡は直径約2mの暗褐色土の円形プランを呈する。土坑は直径1.0～1.6m、深さ0.6m前後で、底面が広く平らであり、フラスコ状土坑と考えられる。遺構覆土はいずれもII a層あるいはIII層に由来する土で、炭化物や地山ブロックを含んでいる。

遺物はII a層が残存する4トレンチ南側を中心には縄文土器や石器が出土した。摩滅したものが多く、汎状地形に流れ込んだと考えられる。そのほか、北側の台地縁辺部ではトランシェ様石器と使用痕のある礫が表採された。



第15図 福島遺跡位置図

## ⑨ 所見

## a 遺跡の種類

検出遺構と出土遺物から、縄文時代の集落跡と考えられる。

## b 遺跡の範囲と工事区域

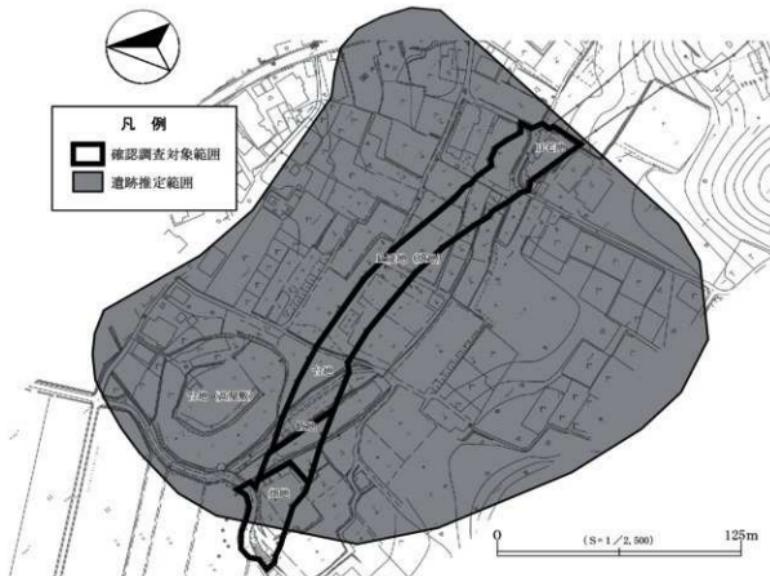
遺構・遺物が確認された丘陵地を中心に本発掘調査が必要である。

南側の旧宅地と畑地及び北西端の畑地は、遺構が確認されず、地山面まで搅乱が及んでおり、要本発掘調査範囲から除外した。

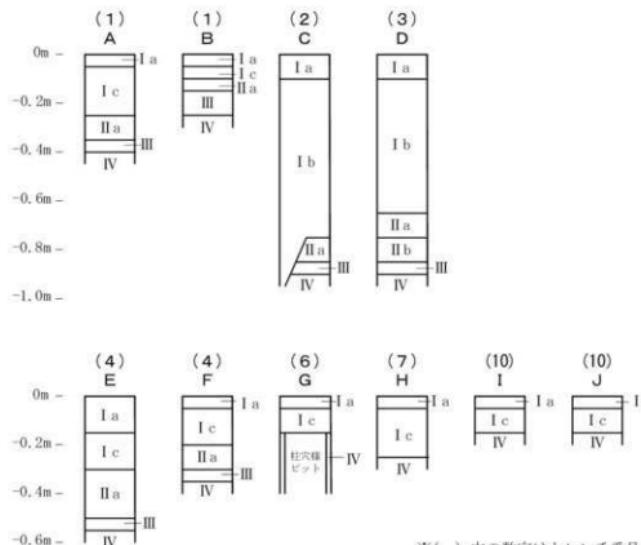
北側の台地部分は、人工的な地形改変による段状地形である可能性が高く、堀の可能性もある西側低地部分も併せて要本発掘調査範囲に含めた。調査対象範囲は3,220 m<sup>2</sup>となる。

## c 発掘調査時に予想される遺構・遺物

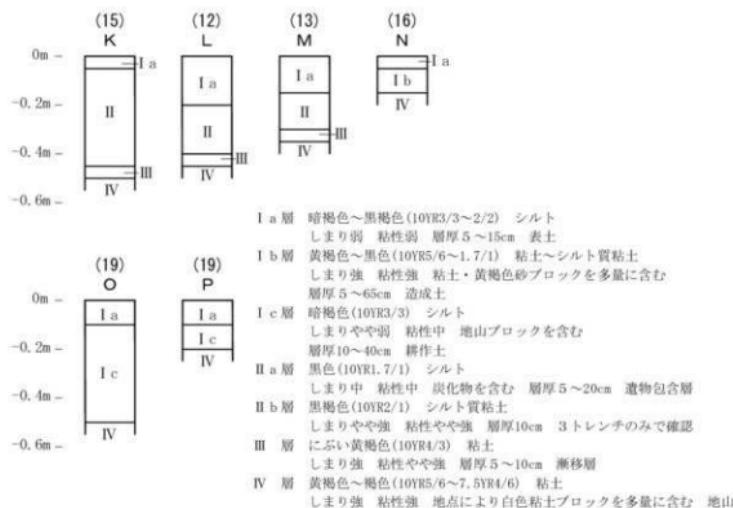
遺跡の主体は縄文時代中期の集落跡と考えられる。丘陵地周辺では、堅穴建物跡・土坑・プラスコ状土坑等が検出され、縄文時代中期の土器や石器が出土すると予想される。台地部分では、縄文時代の土坑や柱穴様ピット、古代～中世の構跡が検出され、縄文時代中期・晚期の縄文土器や石器、古代の須恵器・土師器、中世の陶磁器等が出土すると予想される。



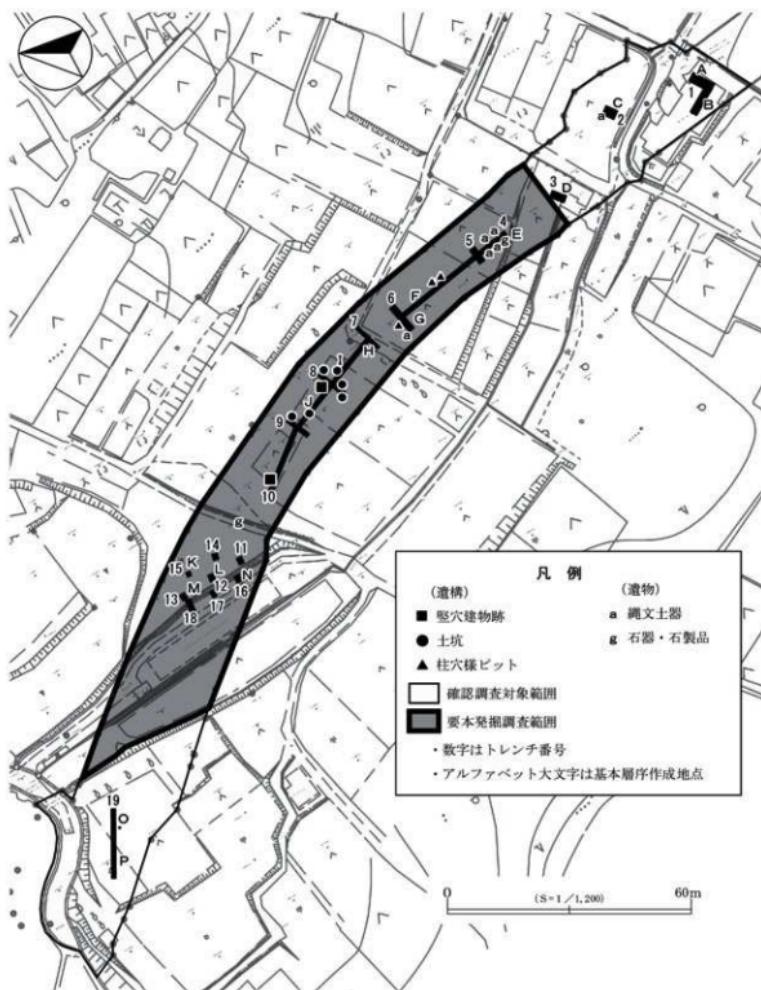
第16図 福島遺跡推定範囲と確認調査対象範囲図



※( ) 内の数字はトレンチ番号



第17図 福島遺跡基本層序図



第18図 福島遺跡確認調査結果と要本発掘調査範囲図



10 トレンチ掘削状況  
(南西→)



10 トレンチ  
豊穴建物跡検出状況  
(南東→)



10 トレンチ  
土坑土層断面状況  
(南東→)

## (4) 大館工業団地開発事業

## 片貝家ノ下遺跡

- ① 遺跡所在地 秋田県大館市比内町片貝字家ノ下17外  
 ② 確認調査期間 令和4年8月30日～8月31日  
 ③ 確認調査対象面積 39,000 m<sup>2</sup>  
 ④ レーダー探査対象面積 16,700 m<sup>2</sup>  
 ⑤ 遺跡の立地と現況

## a 立地

遺跡は、JR花輪線扇田駅から南西へ約2kmに位置し、引欠川右岸の標高58mの沖積地に立地する。引欠川は昭和30年代後半まで遺跡の東～北西縁に沿うように流れしており、本来、遺跡はこの川の左岸に位置していたことになる。旧河道は、工業団地造成に伴う埋め立て造成により現状では確認することができなくなった。引欠川流域は江戸時代から埋没建物が見つかることで知られ、菅江真澄らの記録には、遺跡から約5km下流の大坡、板沢地区で、洪水に伴う崖崩れの際に建物がたびたび発見してきたことが記されている。



## b 現況

調査対象範囲全域が旧水田である。対象範囲は北西～南東方向に長く、その中を2本の農道が100m間隔で北東～南西方向に通っている。平成27・28年に行われた確認調査時のトレンチは、埋め戻され原状回復されている。

## ⑥ 確認調査の結果

## a これまでの調査概要

平成27年春の試掘調査による遺跡発見後に行われた確認調査では、西暦915年の十和田火山の噴火に伴う降下軽石（大湯軽石）や火山泥流堆積物（シラス）により建ったまま埋没し、傾斜した屋根の痕跡が3次元的に残る伏屋形式の堅穴建物跡や堅穴・掘立柱併用建物跡等を検出した。建物跡は、屋根や柱など構造材の腐朽痕跡が主体で、地下水位が高いところでは構造材そのものが残存している。古代の集落は、遺跡の北東側に展開し、噴火前に埋め戻された複数の堅穴建物跡で重複が認められる事から、一定期間存続したことがわかる。平成28年の調査では、集落の南～北東側隣接地において田面や畦畔直上に降下軽石が堆積した水田跡が検出され、集落と耕作地が同時に埋没したことが明らかになった。

平成29年からは遺跡を掘らずに遺構の分布状況を推し量すること目的として地中レーダー探査を始めた。この探査は、堆積層の境目を電磁波の反射により検出するものである。平成29年度の探査では、西暦915年以前に埋め戻された遺構は床面と埋土の土質が似るため反応が悪く、一方、火山泥流（堆積物）で埋まった遺構や降下軽石に覆われた旧地表面は土質の差が大きく反応は良いことが分かった。つまり地中レーダー探査は、西暦915年の十和田火山噴火に伴う火山泥流発生時に集落を構成していた遺構群を把握する上で、非常に有効であることが明らかになった。

平成29・30年に2本の農道の間で行われた探査では、新たな堅穴建物跡3棟や墳墓らしき盛土6基、溝跡などの遺構群の反応を検出したほか、水田のある低位面より0.8mほど高い中位面があることが分かった。

令和元年度に北西部を対象に行われた探査では、複数の堅穴建物の反応を確認した。これにより居住域が当初の想定よりも、さらに北西側に広がる可能性が高いことがわかった。また、墳墓らしき盛土6基の反応が得られた墓域とみられる範囲が絞り込まれた。

令和2年度の探査は、平成27年度確認調査域内で、立ったままの状態で埋没した痕跡が残る土屋根とみられる堅穴建物跡を含む複数の堅穴建物跡が検出された遺跡の北東側で実施した。

探査の結果、土屋根とみられる堅穴建物跡や墳墓らしき盛土とみられる反応が得られた。墳墓らしき盛土の反応を得た場所は、平成29・30年の探査で想定した墓域から東に60～100m離れた場所にあり、墓域が2か所に営まれていた可能性が高くなかった。

#### b 令和4年度探査の概略

今年度の探査は、旧地形を把握することを目的に20m間隔の探査線を遺跡の東から南東側にかけて設定した。また、平成28年度の確認調査で堅穴・掘立柱併用建物跡や掘立柱建物跡を確認した遺跡南東部に、建物跡等の分布状況を確認するために、5m及び1mの方眼を設定し、その線上で探査を行った。

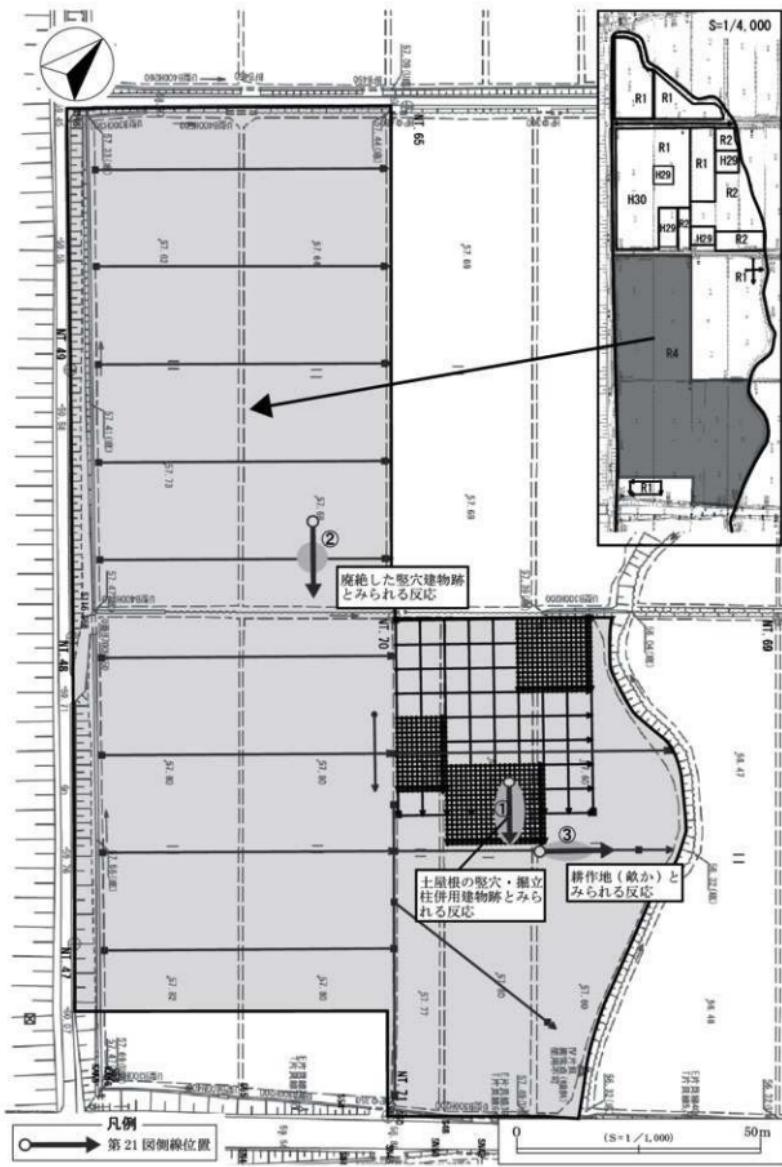
探査の結果、高位面から中位、低位面へと変化する地形の変換点をおおよそ把握し、堅穴建物跡や耕作地とみられる反応も得ることができた。堅穴建物跡には土屋根が残存しているもの（①）と、すでに廃絶されたもの（②）がある。また、①では堅穴建物跡の東側に平坦面の反応があり、掘立柱建物跡が付属する堅穴・掘立柱併用建物と考えられる。

耕作地とみられる反応の検出深度は、約1.5～1.8mである。周辺に分布する遺構の検出深度と同程度であり、当時の生活面と同じ高さである。

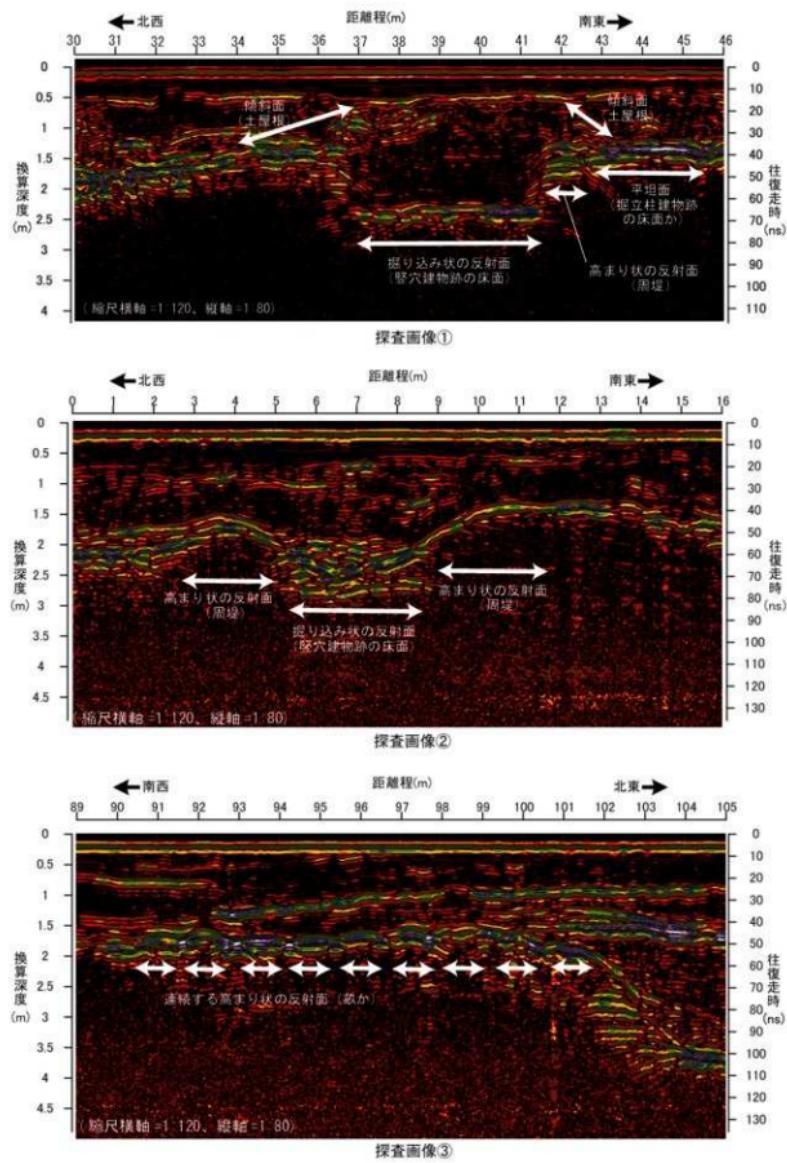
今回の探査により、旧地形と居住域の広がりを確認するとともに、水田以外の耕作地の存在を想定できたことで、集落の構造及び景観を検討する上での新たな情報が得られたといえよう。また、土屋根が残る堅穴・掘立柱併用建物とみられる反応を新たに確認できたことは、今後の遺跡の保存、活用にとって大きな成果である。



レーダー探査の様子  
(東→)



第20図 地中レーダー探査位置図



第21図 探査画像①～③

## 報告書抄録

ふりがな	いせきしうさいぶんぶちょうさほうこくしょ						
書名	遺跡詳細分布調査報告書						
副書名							
卷次							
シリーズ名	秋田県文化財調査報告書						
シリーズ番号	第529集						
編著者名	秋田県教育庁生涯学習課文化財保護室 秋田県埋蔵文化財センター						
編集機関	秋田県埋蔵文化財センター						
所在地	〒014-0802 秋田県大仙市払田字牛嶋 20 番地 TEL 0187-69-3331						
発行機関	秋田県教育委員会						
所在地	〒010-8580 秋田県秋田市山王三丁目1番1号 TEL 018-860-5193						
発行年月	西暦 2023年3月						
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	北緯 度	東経 度	調査期間	調査面積	調査原因
大道遺跡	秋田県にかほ市 象潟町関字大道	052141	39° 21'43"	139° 92'26"	20220307 ～ 20220318	530 m <sup>2</sup> (対象面積 6,110 m <sup>2</sup> )	国道7号道佐 象潟道路事業
雄和金ヶ崎 遺跡	秋田県秋田市 雄和種蒔沢地内	052019	39° 20'34"19"	140° 12'52"	20220418 ～ 20220422	135 m <sup>2</sup> (対象面積 750 m <sup>2</sup> )	雄物川下流 激甚災害対策 特別緊急事業 (種蒔地区)
大川端道ノ上 遺跡	秋田県大仙市 強首字大川端 道ノ上 26 外	052124	39° 21'24"55"	140° 18'26"	20221017 ～ 20221104	2,340 m <sup>2</sup> (対象面積 12,000 m <sup>2</sup> )	雄物川水系 直轄河川 改修事業 (寺館大巻地区)
福島遺跡	秋田県雄勝郡 羽後町足田字 福島	054631	39° 46'37"47"	140° 24'13"	20221031 ～ 20221109	279 m <sup>2</sup> (対象面積 5,800 m <sup>2</sup> )	交通安全 対策事業 (通学路緊急対策) 主要地方道 大曲大森羽後線 (安良町工区)
片貝家ノ下 遺跡	秋田県大館市 比内町片貝字 家ノ下 17 外	052043	40° 20'47"54"	140° 33'17"	20220830 ～ 20220831	16,700 m <sup>2</sup> (対象面積 39,000 m <sup>2</sup> )	大館工業団地 開発事業

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
大道遺跡	集落跡	縄文時代	土坑・柱穴様ピット	縄文土器・石器	縄文時代の集落跡と考えられる。
雄和金ヶ崎遺跡	散布地	縄文時代 平安時代	土坑・柱穴様ピット・ 石器製作跡	縄文土器・石器 土師器・須恵器	縄文時代前期及び平安時代の散布地と考えられる。
大川端道ノ上遺跡	集落跡	縄文時代	土坑・焼土遺構	縄文土器・石器	縄文時代前期の集落跡と考えられる。
福島遺跡	集落跡	縄文時代	堅穴建物跡・土坑・ 柱穴様ピット	縄文土器・石器	縄文時代の集落跡と考えられる。
片貝家ノ下遺跡	集落跡	平安時代	堅穴建物跡・性格不明 遺構（現在分析中）		十和田火山噴出物による泥流に埋まった平安時代の集落跡及び耕作地と考えられる。
要 約	令和4年1月から11月までの83件の詳細分布調査と5件の遺跡確認調査の結果を収録。確認調査では、大道遺跡・雄和金ヶ崎遺跡・大川端道ノ上遺跡・福島遺跡について本発掘調査が必要と判断した。片貝家ノ下遺跡では、地中レーダー探査により平安時代の堅穴・掘立柱併用建物及び烟の礎と推定される遺構の反応があった。				

秋田県文化財調査報告書第 529 集  
遺跡詳細分布調査報告書

印刷・発行 令和 5 (2023) 年 3 月

編 集 秋田県埋蔵文化財センター  
〒014-0802 大仙市弘田字牛嶋 20 番地  
電話 (0187) 69-3331 FAX (0187) 69-3330

発 行 秋田県教育委員会  
〒010-8580 秋田市山王三丁目 1 番 1 号  
電話 (018) 860-5193

印 刷 株式会社 仙北印刷所









